独立行政法人国立病院機構
相模原病院
相模原病院臨床研究センター

研　究　業　績　集
令和２年度

免疫異常（リウマチ・アレルギー）高度専門医療施設

独立行政法人国立病院機構相模原病院臨床研究センター

令和２年度研究業績集刊行にあたり

国立病院機構　相模原病院　院長　金田悟郎

当相模原病院の令和２年度は、元年にも増して新型コロナ感染の対応に追われる年となっています。本邦では昨年３月からの第一波に引き続き、８月をピークとする第２波、翌年１月の第３波、５月の第４波とだんだん新規陽性者も増加し、さらに現在の第５波と感染拡大の一途をたどり、ついに全国の新規陽性者は25000人を超えるに至りました。この原稿を執筆中の９月第３週ではやっと第５波のピークアウトが見えてきているようで、継続する緊急事態宣言のおかげなのか、はたまた増加する重傷者と在宅を含む死亡者を目の当たりにし、近年増加している若年者の重症化などを懸念する国民全体の自粛によるものかは定かではありませんが、当相模原病院としては職員一同少し安堵しているところです。期待するワクチン接種はスタートこそ欧米先進各国に後れを取りましたが、なんとか国民一丸となり全体で２回接種が50％を超えるに至ってきているようです。デルタをはじめとする各種変異株は次々出現し、ワクチンの効果のほどが問われてはいますが、確かに臨床的にはワクチン接種後の重症化は抑えられているという印象は確実にあり、今後もワクチン接種の推進は不可欠と思われます。

また、今年度はTokyo2020と銘打った、昨年延期されたオリンピック、パラリンピックが緊急事態宣言の中開催されるという世界中で今まで経験したことのないような一大イベントがあったという、”日本国民にとってこれ以上の試練があるのか”という年でもありました。開催前の調査では、開催延期ないし中止を望む声が多かったようでしたが、結果とし開催に踏み切り、日本は金メダル27個、銀メダル14個、銅メダル17個と過去最高のメダルを獲得しました。これに続いて開催されたパラリンピックでも金13個、銀15個、銅23個とアテネに次ぐ多くのメダルを獲得するとともに、私たちに多くの感動を届けてくれました。また、開催前に恐れていたような感染拡大はなく、全体としては何とか無事に開催できたということは国をはじめ開催に関わった関係者全員の努力の賜物であると深謝します。このコロナ禍の時にこのように開催できる国は、私の私見ですが日本だけであったと思っています。

当相模原病院は令和２年２月から新型コロナ患者の受け入れをはじめ、現在まで328名の新型コロナ入院患者を受け入れ、延べ入院患者数としては5667名となります。また、PCR検査11000件、LAMP検査5500件、抗原検査2000件、抗体検査1500件と多くの検査を行っており、このすべてが現在では院内対応可能となっています。本年６月からは変異株検査にも対応できるようになり、職員全員がコロナ禍の中迅速に対応してくれています。

当院は医師も全員総出で新型コロナ患者さんを含む緊急患者さんなどに対応しており、年間救急車受け入れ台数も6500件を超えるようになってきています。このような中、研究をするということは莫大な労力と気力を使うものであることは言うまでもありません。そんな中、英語論文92件、和文論文80件、国際学会80件、国内学会277件と例年と遜色ないほど奮闘しているみんなの結果を本業績集に掲載しています。是非ご一読をお願いいたします。

臨床研究センター長挨拶

臨床研究センター長　海老澤元宏

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、当院ならびに当臨床研究センターの運営につきまして、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび令和2年度の国立病院機構相模原病院および同臨床研究センターの研究業績をお届けさせていただきます。臨床研究センター事務室臺さんを中心にセンター事務室と病院が一体となって集計いたしました。ご高閲いただきご指導ご助言いただければ幸いに存じます。

2020年初頭からの新型コロナウイルスによるパンデミックにより世の中は一変し大変な状況での生活となってしまいました。東京オリンピックも無観客ながら開催され、ワクチン接種も徐々に進み出口戦略が見えてきたかと思ったところで、デルタ変異株で行く先不透明になってきました。当院は、NHO免疫・アレルギー（リウマチ・成人アレルギー・小児アレルギー）ネットワーク拠点病院であるとともに、国のアレルギー医療の中心拠点施設（小児・成人アレルギー）に指定され活動しております。

独立行政法人として病院経営が最優先され、親方日の丸時代とは異なり国立病院機構相模原病院臨床研究センターのスタッフの人数は限られております。しかし、世界レベルの臨床や臨床研究レベルを保ち、国や地域のアレルギー・リウマチ医療に貢献できるよう努力する所存です。

末筆となりましたが、先生方、各施設の方々の益々のご健勝ご発展を祈念しております。

目　次

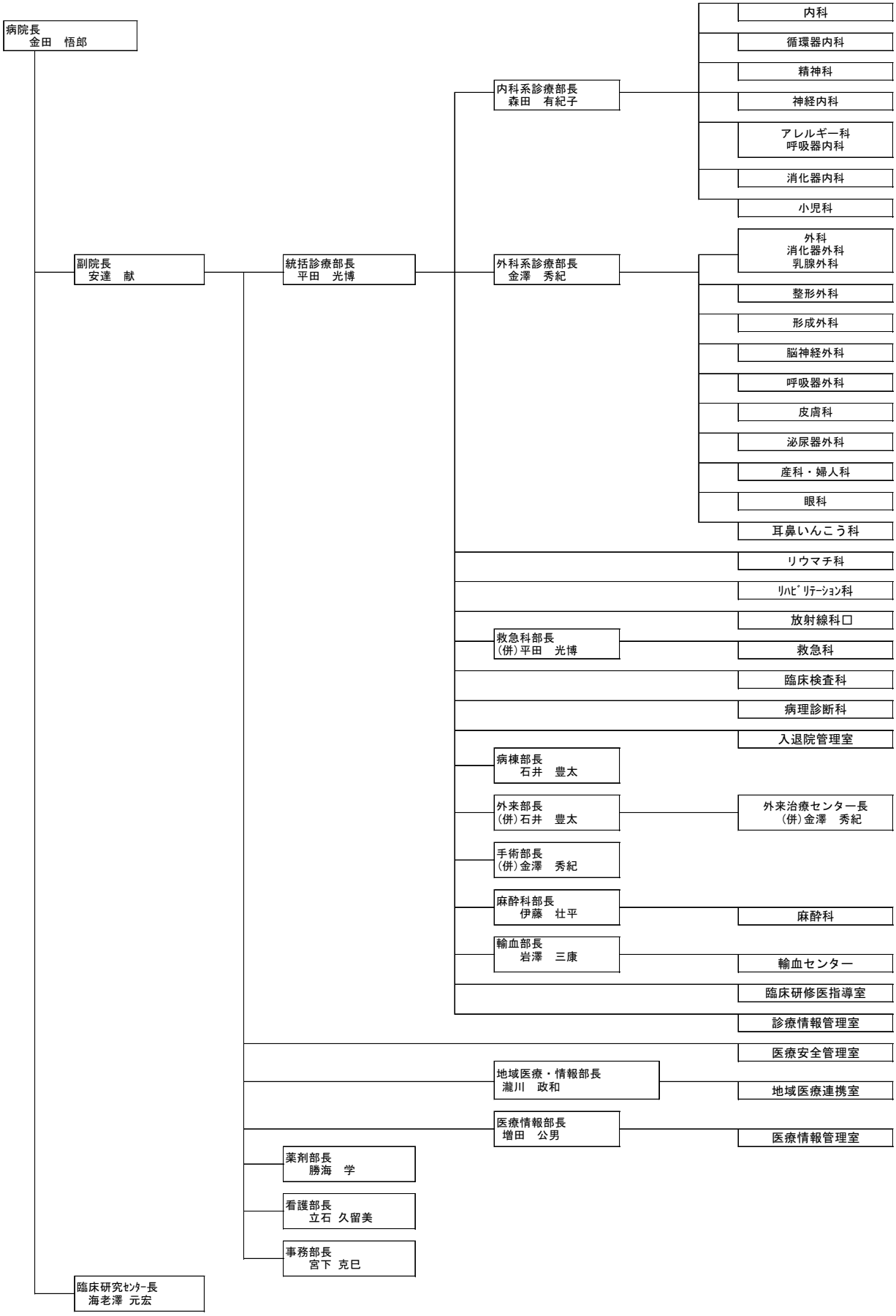
巻頭言 …… 1
臨床研究センター長挨拶 …… 2
Ⅰ．【相模原病院組織図】 …… 5
　病院診療部組織図 …… 6
　臨床研究センター組織図 …… 7

Ⅱ．【臨床研究センター令和２年度研究業績報告】 …… 8
　成人アレルギー分野 …… 9
　小児アレルギー分野 …… 23
　リウマチ分野 …… 41
　　1）リウマチ科 …… 41
　　2）整形外科 …… 48
　基礎免疫研究分野 …… 51
　　1）先端技術開発研究分野 …… 52
　　2）臨床免疫学研究分野 …… 53
　その他の臨床研究分野 …… 53
　　1）上気道アレルギー・花粉症研究分野 …… 53
　　2）神経難病研究分野 …… 53
　　3）皮膚疾患・皮膚アレルギー研究分野 …… 57
Ⅲ．【相模原病院診療部令和２年度業績報告】 …… 60
　外科･消化器外科･乳腺外科 …… 61
　呼吸器外科 …… 63
　脳神経外科 …… 64
　形成外科 …… 65
　循環器内科 …… 66
　泌尿器科 …… 72
　産科・婦人科 …… 73
　眼科 …… 74
　腫瘍内科 …… 75
　救急科 …… 76
　リハビリテーション科 …… 77
　病理診断科 …… 78
　放射線科 …… 79
　臨床検査部門 …… 80
　薬剤部門 …… 81
　栄養管理部門 …… 82
　看護部門 …… 83
　治験部門 …… 84
Ⅳ．【年次報告】 …… 85
　研究助成による研究参画 …… 86
　令和２年度　NHO ネットワーク共同研究 …… 89
　令和２年度　EBM 推進のための大規模臨床研究 …… 90
　受賞 …… 91

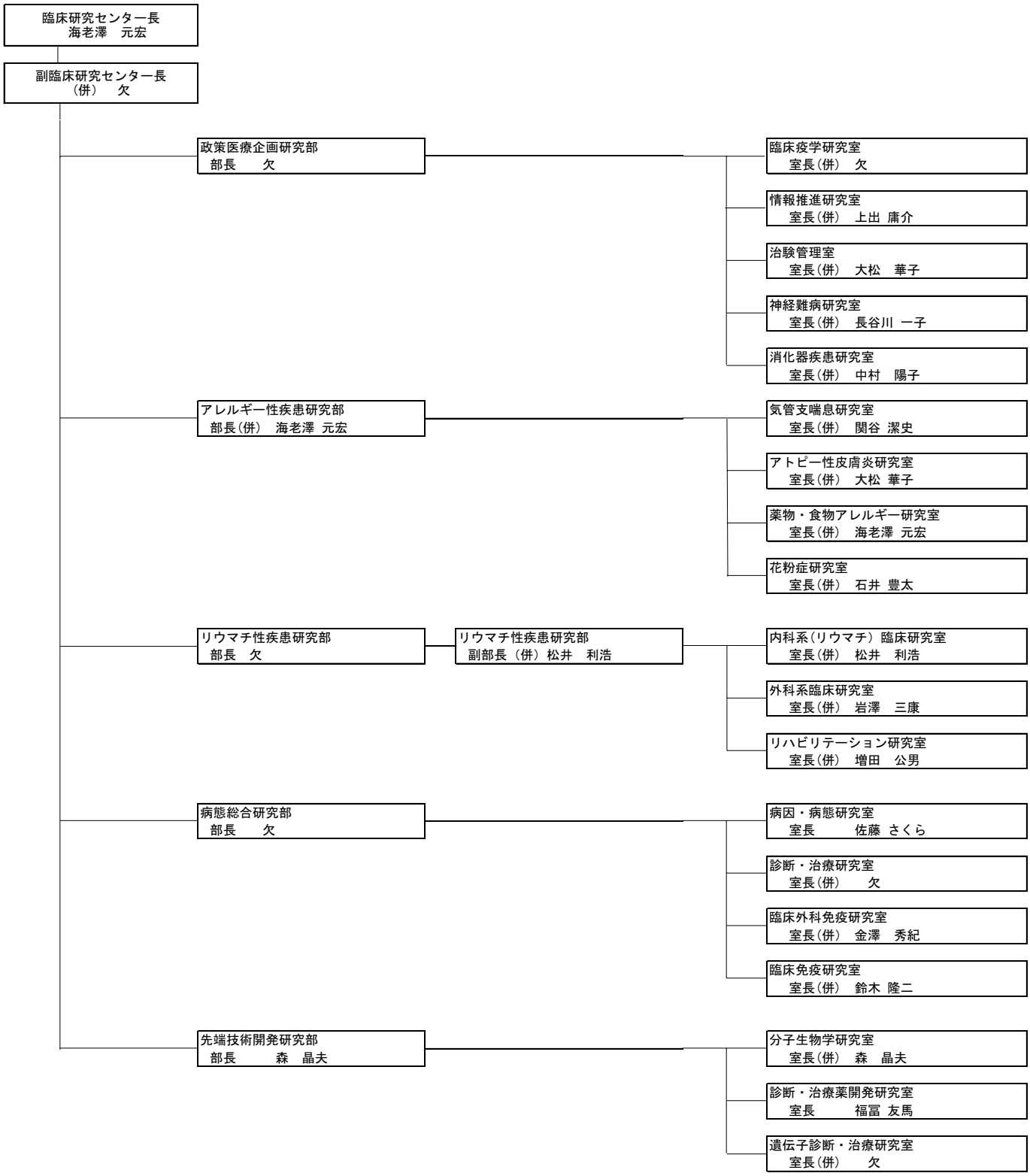
メディア …… 92
Ⅴ．【研究業績の分類と業績件数表】 …… 94
Ⅵ．【主な欧文原著】 …… 96

Ⅰ.【相模原病院　組織図】

病院診療部　組織図　（令和２年４月１日現在）



臨床研究センター組織図　（令和２年４月１日現在）



独立行政法人国立病院機構
相模原病院

Ⅱ．【臨床研究センター令和２年度研究業績報告】

成人アレルギー分野

■英文原著・短報

1. **Effectiveness and Safety of Omalizumab in Patients with Allergic Bronchopulmonary Aspergillosis Complicated by Chronic Bacterial Infection in the Airways**

   Tomomatsu K, Oguma T, Baba T, Toyoshima M, Komase Y, Taniguchi M, Asano K, and the Japan ABPM Research Program

   Int Arch Allergy Immunol. 2020 May; 180(7): 499–506

2. **Omalizumab for Aspirin Hypersensitivity and Leukotriene Overproduction in Aspirin-exacerbated Respiratory Disease. A Randomized Controlled Trial**

   Hayashi H, Fukutomi Y, Mitsui C, Kajiwara K, Watai K, Kamide Y, Nakamura Y, Hamada Y, Tomita Y, Sekiya K, Tsuburai T, Izuhara K, Wakahara K, Hashimoto N, Hasegawa Y, Taniguchi M

   American Journal of Respiratory and Critical Care Medicine. 2020 Jun; 201(12): 1488–1498

3. **Novel in Vitro Test for Pollen-Related Vegetable/Fruit Allergy Using the EXiLE Method**

   Akiyama H, Kawamata K, Fukutomi Y, Matsufuji H, Kai S, Miyazawa M, Nakamura R

   Allergology International. 2020 Jul; 69(3): 459–461

4. **Serum IgG4 as a Biomarker Reflecting Pathophysiology and Post-Operative Recurrence in Chronic Rhinosinusitis**

   Oka A, Ninomiya T, Fujiwara T, Takao S, Sato Y, Gion Y, Minoura A, Haruna SI, Yoshida N, Sakuma Y, Izuhara K, Ono J, Taniguchi M, Haruna T, Higaki T, Kariya S, Koyama T, Takabayashi T, Imoto Y, Sakashita M, Kidoguchi M, Nishizaki K, Fujieda S, Okano M

   Allergology International. 2020 Jul; 69(3): 417–423

5. **Optimal Aspergillus fumigatus and Asp f 1 serum IgG cut-offs for the diagnosis of allergic bronchopulmonary aspergillosis.**

   Hamada Y, Fukutomi Y, Nakatani E, Saito A, Watai K, Kamide Y, Sekiya K, Nagai T, Harada K, Shiraishi Y, Oguma T, Asano K, Taniguchi M

   Allergol Int. 2020 Aug; :

6. **New Clinical Diagnostic Criteria for Allergic Bronchopulmonary Aspergillosis/Mycosis and its Validation**

   Asano K, Hebisawa A, Ishiguro T, Takayanagi N, Nakamura Y, Suzuki J, Okada N, Tanaka J, Fukutomi Y, Ueki S, Fukunaga K, Konno S, Matsuse H, Kamei K, Taniguchi M, Shimoda T, Oguma T; Japan ABPM research program

   Journal of Allergy and Clinical Immunology. 2020 Sep; :

7. **The prevalence of oral symptoms caused by Rosaceae fruits and soybean consumption in children; a Japanese population-based survey**

   Sasaki M, Morikawa E, Yoshida K, Fukutomi Y, Adachi Y, Odajima H, Akasawa A

   Allergology International. 2020 Oct; 69(4): 610–615

8. **Eosinophil ETosis-mediated release of galectin-10 in eosinophilic granulomatosis with polyangiitis**

Fukuchi M, Kamide Y, Ueki S, Miyabe Y, Konno Y, Oka N, Takeuchi H, Koyota S, Hirokawa M, Yamada T, C N Melo R, F Weller P, Taniguchi M

Arthritis & Rheumatology. 2021 Mar; :

9. **A case of hand urticaria, lip angioedema, and oropharyngeal pruritus induced by Japanese radish through IgE-mediated immediate allergic reaction**

Ito J, Harada S, Sasano H, Ueda S, Sandhu Y, Takeshige T, Katsura Y, Harada N, Takahashi K

Allergy,Asthma&Clinical Immunology. 2021 Mar; 17(1): 36

■英文総説・著書

1. **Anaphylaxis to three humanized antibodies for severe asthma: a case study**

Jingo K, Harada N, Nishioki T, Torasawa M, Yamada T, Asao T, Takagi H, Takeshige T, Ito J, Takahashi K

Allergy, Asthma & Clinical Immunology 2020. 6; 16

■和文総説・著書

1. **アナフィラキシー　アナフィラキシーガイドライン**

関谷 潔史

medicina 増刊号 2020　早わかり　診療ガイドライン　2020. 4; 第 57 巻　第 4 号: 295-298

2. **NSAIDs 不耐症/ アスピリン喘息（AERD）における病態解明の進歩と臨床的側面**

谷口 正実, 林 浩昭, 三井 千尋, 梶原 景一, 渡井 健太郎, 上出 庸介, 関谷 潔史, 福冨 友馬

臨床免疫･アレルギー科　2020. 4; 73(4): 415-423

3. **NSAIDs 過敏喘息**

関谷 潔史, 藤田 教寛, 岩田 真紀, 永山 貴紗子, 矢野 光一

内科　Internal Medicine 臨床雑誌　2020. 6; 第 125 巻　第 6 号: 1375-1378

4. **好酸球性多発血管炎性肉芽腫症**

谷口 正実, 関谷 潔史, 上出 庸介, 福冨 友馬, 渡井 健太郎, 濱田 祐斗, 中村 祐人, 劉 楷, 藤田 教寛, 矢野 光一, 岩田 真紀, 永山 貴紗子, 森 晶夫

アレルギー　2020. 7; 69(5): 293-303

5. **成人小麦アレルギーの自然史**

濱田 祐斗

臨床免疫･アレルギー科　2020. 7; 74(1): 54-58

6. **胃酸分泌抑制薬の使用と喘息発症の関連**

富田 康裕, 福冨 友馬, 谷口 正実

臨床免疫･アレルギー科　2020. 7; 74(1): 44-49

7. ライフスタイルの影響と生活指導

福冨 友馬

呼吸器内科　2020. 9; 38 巻 3 号: 214–219

8. N–ERD（アスピリン喘息 , NSAIDs 過敏喘息，AERD）

谷口 正実，　林 浩昭，　三井 千尋，　梶原 景一，　渡井 健太郎，　上出 庸介，　福冨 友馬，
関谷 潔史

呼吸器内科　2020. 9; 38(3) : 243–251

9. 免疫・アレルギー(旧免疫異常) ネットワーク研究グループの現況

谷口 正実

医療　2020. 10; 74 巻 10 号: 424–427

10. NSAIDs 不耐症/ アスピリン喘息(AERD) における病態解明の進歩と臨床的側面

谷口 正実

医療　2020. 10; 74 巻 10 号: 428–436

11. アレルギー用語解説シリーズ　経口ダニアナフィラキシー(パンケーキ症候群)

福冨 友馬

アレルギー　2020. 11; 69 巻 9 号: 932–933

12. 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症に対する IL–5 阻害薬メポリズマブ

関谷 潔史，河崎 裕一郎，岩田 真紀，永山 貴紗子，岩本 圭右，矢野 光一，中村 祐人
RHEUMATOLOGY リウマチ科　Vol. 64　No. 6　Dec. 2020　2020. 12; 第 64 巻第 6 号: 695–701

13. EGPA の新たな管理法

濱田 祐斗，関谷 潔史，谷口 正実

Respiratory Medicine 呼吸器内科　2020. 12; 第 38 巻　第 6 号: 568–575

14. 各種難病の最新治療情報　その「重症」薬剤アレルギー・「重症」喘息・「重症」食物アレルギーは，多種化学物質過敏症(特発性環境不耐症) ではありませんか

渡井 健太郎

難病と在宅ケア　2021. 1; 26 巻 10 号 : 43–45

15. 成人食物アレルギーの特徴と診断方法は?　病歴聴取に加え，血液検査と皮膚テストを組み合わせて IgE 反応を確認する

福冨 友馬，岡本 師

日本医事新報　2021. 1; 5047 号: 51–52

16. 治療法の再整理とアップデートのために　専門家による私の治療　食物アレルギー(成人)

福冨 友馬

日本医事新報　2021. 1; 5046 号: 39–41

17. 気管支拡張薬

関谷 潔史

治療薬　ハンドブック　Handbook of Clinical Drug 2021　薬剤選択と処方のポイント　2021. 1; : 459–480

18. 気管支喘息治療薬

関谷 潔史

治療薬　ハンドブック　Handbook of Clinical Drug 2021 薬剤選択と処方のポイント　2021. 1; : 481–502

19. 繰り返すアナフィラキシーと総 IgE 低値の関連について　【総 IgE 値が低値でもアナフィラキシーは起こりえる】

濱田 祐斗，福冨 友馬

週刊日本医事新報　Japan Medical Journal　2021. 2; 第 5050 号: 58–60

20. 繰り返すアナフィラキシーと総 IgE 低値の関連について

濱田 祐斗，福冨 友馬

週刊日本医事新報　2021. 2; 5050 号 : 58–60

21. 外来で出会うアレルギー疾患　Total Allergist 入門

関谷 潔史

内科臨床誌　メディチーナ　Vol. 58　No. 2　medicina 2021 2　2021. 2; 第 58 巻　第 2 号: 186–187

22. アナフィラキシー

関谷 潔史

内科臨床誌　メディチーナ　Vol. 58　No. 2　medicina 2021–2　2021. 2; 第 58 巻　第 2 号: 193–197

23. アレルゲンコンポートネントを用いた臨床診断

福冨 友馬

内科臨床誌メディチーナ　2021. 2; 58(2) : 246–250

24. 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症（EGPA）

天野 宏一，神田 祥一郎，倉沢 隆彦，駒形 嘉紀，佐田 憲映，関谷 潔史，谷口 正実，堀場 惠

抗リン脂質抗体症候群･好酸球性多発血管炎性肉芽腫症･結節性多発動脈炎･リウマトイド血管炎の治療の手引き 2020　2021. 3; :

25. 臨床問題集　呼吸器　Question 106～108，Anwer106～108

関谷 潔史

THE 総合内科ドリル　2021. 3; 第 1 版第 1 刷: 227～232

26. 各種アレルギー検査

関谷 潔史

診断と治療　2021 年増刊号　2021. 3;　VOl. 109 Suppl : 219～222

27. 病因アレルゲンの同定と正しい患者指導

福冨 友馬

アレルギー診療必携ハンドブック　2021. 3; : 10–28

■国際発表

［学会_シンポジウム］

1. **〈SY-7(1-2)-2〉Occupational food allergy**

Fukutomi Y

JSA/WAO Joint Congress 2020

2020 Sep, Web 開催

2. **〈MS25-4〉The effectiveness of mepolizumab for peripheral neurological symptoms in eosinophilic granulomatosis with polyangiitis**

Nakamura Y, Fukutomi Y, Kawasaki Y, Fujita N, Iwata M, Nagayama K, Yano K, Hamada Y, Watai K, Ryu K, Hayashi H, Kamide Y, Mori A, Taniguchi M, Sekiya K

JSA/WAO Joint Congress 2020

2020 Sep, Web 開催

3. **〈MS1-3〉Optimal aspergillus fumigatus and Asp f 1 serum IgG cut-offs for the diagnosis of allergic bronchopulmonary aspergillosis**

Hamada Y, Fukutomi Y, Nakatani E, Saito A, Watai K, Kamide Y, Sekiya K, Nagai T, Harada K, Shiraishi Y, Oguma T, Asano K, Taniguchi M

JSA/WAO Joint Congress 2020

2020 Sep, Web 開催

4. **〈MS8-1〉Circulating cell free DNA as a biomarker in Eosinophilic granulomatosis with polyangiitis**

Hashimoto T, Ueki S, Kamide Y, Miyabe Y, Yokoyama Y, Furukawa T, Azuma N, Taniguchi M, Saga T, Hashiramoto A, Matsui K

JSA/WAO Joint Congress 2020

2020 Sep, Web 開催

5. **〈MS3-3〉Loss of cytoplasmic galectin-10 in eosinophil ETosis-mediated cytolysis**

Fukuchi M, Kamide Y, Ueki S, Miyabe Y, Konno Y, Oka N, Takeuchi H, Saga T, Melo R, Weller P, Taniguchi M

JSA/WAO Joint Congress 2020

2020 Sep, Web 開催

［学会_一般演題］

1. **〈PE26-6〉Association between chronic spontaneous urticaria and sleep-disordered breathing**

Nagayama K, Sekiya K, Watai K, Fujita N, Iwata M, Yano K, Hashimoto Y, Nakamura Y, Hamada Y, Miyake A, Ryu K, Hayashi H, Ohmatsu H, Kamide Y, Fukutomi Y, Taniguchi M

JSA/WAO Joint Congress 2020

2020 Sep, Web 開催

2. **〈PE14-4〉 Elevated serum levels of galectin-10 in active eosinophilic granulomatosis polyangiitis**

Kamide Y, Ueki S, Fukuchi M, Fujita N, Iwata M, Nagayama K, Nakamura Y, Yano K, Watai K, Hamada Y, Ryu K, Hayashi H, Fukutomi Y, Sekiya K, Mori A, Taniguchi M

JSA/ WAO Joint Congress 2020
2020 Sep, Web 開催

3. **〈PE24-6〉 Detection of eosinophil ETosis in eosinophilic granulomatosis with polyangiitis (EGPA) by citrullinated histone H3 immunostaining**

Fukuchi M, Kamide Y, Ueki S, Miyabe Y, Furutani C, Moritoki Y, Saga A, Saga T, Taniguchi M

JSA/ WAO Joint Congress 2020
2020 Sep, Web 開催

4. **〈PE25-5〉 Gut microbiome analysis for Japanese patients with multiple chemical sensitivity/ idiopathic environmental intolerance**

Watai K, Sekiya K, Hattori M, Kawasaki Y, Fujita N, Iwata M, Nagayama K, Yano K, Nakamura Y, Hamada Y, Ryu K, Hayashi H, Kamide Y, Fukutomi Y, Taniguchi M

JSA/ WAO Joint Congress 2020
2020 Sep, Web 開催

5. **〈PE4-3〉 Serological analysis for IgE against the booklice liposcelis bostrychophila, a common indoor insect pest, using recombinant allergen components**

Ishibashi O, Sakaguchi M, Fukutomi Y, Kawakami Y, Inui T

JSA/ WAO Joint Congress 2020
2020 Sep, Web 開催

6. **〈PE4-6〉 Allergen sensitization pattern in a Japanese general adult population**

Kitahra A, Yamamoto Y, Fukutomi Y, Shiraishi Y, Tanaka J, Oguma T, Taniguchi M, Nagai T, Asano K

JSA/ WAO Joint Congress 2020
2020 Sep, Web 開催

7. **〈PE4-9〉 Change in allergen sensitization prevalence in Japan between 2005 and 2017**

Tanaka J, Fukutomi Y, Kitahara A, Shiraishi Y, Nagai T, Oguma T, Asano K

JSA/ WAO Joint Congress 2020
2020 Sep, Web 開催

8. **〈PE11-4〉 Ultrasound "humidifier lung" caused by rare fungal pathogens identified in vitro: two case reports**

Ryu K, Sekiya K, Saito A, Watai K, Kamide Y, Fukutomi Y, Numata T, Kuwano K, Kamei K, Taniguchi M

JSA/ WAO Joint Congress 2020
2020 Sep, Web 開催

9. 〈PE32-10〉Oral corticosteroid could be a risk factor for diabetes in patients with asthma

Tomita Y, Fukutomi Y, Irie M, Azekawa K, Nakamura Y, Okada C, Shimoda T, Kuriki M, Kojima K, Taniguchi M

JSA/ WAO Joint Congress 2020
2020 Sep, Web 開催

10. Galectin-10 is increased in the serum of active eosinophilic granulomatosis with polyangiitis (EGPA) patients

Kamide Y, Fujita N, Iwata M, Nagayama K, Nakamura Y, Yano K, Watai K, Hamada Y, Ryu K, hayashi H, Fukutomi Y, Sekiya K, Mori A, Taniguchi M

JSA/ WAO Joint Congress 2020
2020 Sep, Web 開催

11. 〈O-24〉化学物質過敏症における腸内細菌叢解析

渡井 健太郎, 関谷 潔史, 河崎 裕一郎, 藤田 教寛, 岩本 圭右, 岩田 真紀, 永山 貴紗子, 矢野 光一, 中村 祐人, 濱田 祐斗, 劉 楷, 上出 庸介, 福冨 友馬, 谷口 正実, 服部 正平

第 29 回　国際喘息学会日本･北アジア部会
2020 Dec, 宇都宮市

12. 〈O-34〉喘息患者での SAS 合併についての検討

永山 貴紗子, 関谷 潔史, 渡井 健太郎, 河崎 裕一郎, 岩田 真紀, 岩本 圭右, 矢野 光一, 中村 祐人, 濱田 祐斗, 劉 楷, 森 晶夫, 谷口 正実, 福冨 友馬, 上出 庸介

第 29 回国際喘息学会日本･北アジア部会
2020 Dec, 宇都宮市

13. 〈O-30〉喘息における dupilumab 非導入患者の背景因子の検討

劉 楷, 上出 庸介, 河崎 裕一郎, 藤田 教寛, 岩本 圭右, 岩田 真紀, 永山 貴紗子, 濱田 祐斗, 渡井 健太郎, 福冨 友馬, 森 晶夫, 関谷 潔史

第 29 回　国際喘息学会日本･北アジア部会
2020 Dec, 宇都宮市

14. 〈O-32〉当院での好酸球性多発血管炎性肉芽腫症（EGPA）発症前の喘息患者の臨床的特徴についての検討

岩本 圭右, 上出 庸介, 河崎 裕一郎, 永山 貴紗子, 岩田 真紀, 矢野 光一, 中村 祐人, 劉 楷, 濱田 祐斗, 渡井 健太郎, 森 晶夫, 福冨 友馬, 関谷 潔史

第 29 回　国際喘息学会日本･北アジア部会
2020 Dec, 宇都宮市

15. 〈教育講演 4〉吸入性アレルゲン：Update

福冨 友馬

第 29 回　国際喘息学会日本･北アジア部会
2020 Dec, 宇都宮市

16. 〈Poster Number:123〉 Fraction of exhaled nitric oxide measured by NO breath Ⓡ correlate with airway hyperreactivity

Kamide Y, Hayashi H, Hamada Y, Sekiya K, Mori A, Taniguchi M

2021 AAAAI VIRTUAL ANNUAL MEETING

2021 Feb, Web 開催

■国内発表

[学会_シンポジウム]

1. 〈2-02〉呼気 NO（成人）と FOT

上出 庸介

第 14 回相模原臨床アレルギーセミナー, 2020. 8, Web 開催

2. 〈1-01〉化学物質過敏症（特発性環境不耐症）

渡井 健太郎

第 14 回相模原臨床アレルギーセミナー, 2020. 8, Web 開催

3. 〈1-02〉N-ERD（アスピリン/ NSAIDs 過敏喘息　AERD）

谷口 正実

第 14 回相模原臨床アレルギーセミナー, 2020. 8, Web 開催

4. 〈1-04〉成人喘息急性憎悪の背景とその対応

関谷 潔史

第 14 回相模原臨床アレルギーセミナー, 2020. 8, Web 開催

5. 〈1-05〉妊娠期間中の喘息管理

関谷 潔史

第 14 回相模原臨床アレルギーセミナー, 2020. 8, Web 開催

6. 〈1-07〉成人食物アレルギー

福冨 友馬

第 14 回相模原臨床アレルギーセミナー, 2020. 8, Web 開催

7. 〈ライブプロブラム　2-E02〉吸入性アレルゲンの同定と対策

福冨 友馬

第 14 回相模原臨床アレルギーセミナー, 2020. 8, Web 開催

8. 〈ライブプログラム　1-M〉EGPA-診断と治療のポイントを中心に-

谷口 正実

第 14 回相模原臨床アレルギーセミナー, 2020. 8, Web 開催

9. 〈ES-10〉重症喘息・ABPM における真菌特異的 lgE 検査の重要性

福冨 友馬

JSA/ WAO　Joint Congress 2020, 2020. 9, Web 開催

10. 〈MS46〉アレルギー性気管支肺アスペルギルス症診断におけるアスペルギルスフミガタスに対する血清 IgG 抗体のカットオフ値

濱田 祐斗, 福冨 友馬, 中谷 英仁, 白石 良樹, 小熊 剛, 永井 正, 渡井 健太郎, 上出 庸介, 関谷 潔史, 浅野 浩一郎, 谷口 正実

第 60 回日本呼吸器学会学術講演会, 2020. 9, Web 開催

11. 〈MS60〉好酸球性多発血管炎性肉芽腫症における好酸球の細胞死とヒストンのシトルリン化

植木 重治, 福地 峰世, 上出 庸介, 宮部 結, 竹田 正秀, 嵯峨 知生, 小代田 宗一, 守時 由起, 谷口 正実, 廣川 誠

第 60 会日本呼吸器学会学術講演会, 2020. 9, Web 開催

12. 〈CS18-2〉喘息と ABPA における特異的 lgE 抗体測定の意義

福冨 友馬

第 60 回日本呼吸器学会学術講演会, 2020. 9, 神戸市

13. 〈シンポジウム 3〉アナフィラキシーと生活環境因子

福冨 友馬

第 51 回日本職業･環境アレルギー学会総会･学術大会, 2020. 11, 岡山市

［学会_一般演題］

1. 〈PJ14-7〉喘息大発作入院症例における退院後通院状況の検討

関谷 潔史, 渡井 健太郎, 河崎 裕一郎, 藤田 教寛, 岩田 真紀, 永山 貴紗子, 矢野 光一, 中村 祐人, 濱田 祐斗, 劉 楷, 上出 庸介, 福冨 友馬

JSA/ WAO Joint Cngress 2020, 2020. 9, Web 開催

2. 〈ES-10〉ABPM における真菌特異的 IgE 検査の重要性

福冨 友馬

JSA/ WAO Joint Congress 2020　第 69 回日本アレルギー学会学術大会, 2020. 9, Web 開催

3. 〈PJ9-10〉好酸球性多発血管炎性肉芽腫症（EGPA）と喘息合併のない好酸球性副鼻腔炎（ECRS）における副鼻腔病変の比較検討

岩田 真紀, 関谷 潔史, 濱田 祐斗, 藤田 教寛, 永山 貴紗子, 矢野 光一, 中村 祐人, 渡井 健太郎, 劉 楷, 林 浩昭, 上出 庸介, 福冨 友馬, 森 晶夫, 谷口 正実

JSA/ WAO Joint Congress 2020　第 69 回日本アレルギー学会学術大会, 2020. 9, Web 開催

4. 〈PJ4-13〉当院におけるラテックスアレルギーおよびラテックス・フルーツ症候群の認識調査

矢野 光一, 岩田 真紀, 永山 貴紗子, 濱田 祐斗, 劉 楷, 渡井 健太郎, 上出 庸介, 森 晶夫, 谷口 正実, 福冨 友馬, 関谷 潔史

JSA/ WAO Joint Congress 2020　第 69 回日本アレルギー学会学術大会, 2020. 9, Web 開催

5. 〈ポスター PP411〉SAS 合併喘息と SAS 非合併喘息の比較検討

永山 貴紗子, 関谷 潔史, 渡井 健太郎, 藤田 教寛, 岩田 真紀, 中村 祐人, 濱田 祐斗, 劉 楷, 林 浩昭, 上出 庸介, 福冨 友馬, 森 晶夫, 谷口 正実

第 60 回日本呼吸器学会学術講演会, 2020. 9, Web 開催

6. 〈PP645〉化学物質過敏症における腸内細菌叢解析

渡井 健太郎，関谷 潔史，藤田 教寛，岩田 真紀，永山 貴紗子，中村 祐人，濱田 祐斗，劉 楷，林 浩昭，上出 庸介，福冨 友馬，森 晶夫，服部 正平，谷口 正実

第 60 回日本呼吸器学会学術講演会, 2020. 9, Web 開催

7. 〈PP947〉好酸球性多発血管炎性肉芽腫症（EGPA) と喘息合併のない好酸球性副鼻腔炎（ECRS）における副鼻腔病変の検討

岩田 真紀，関谷 潔史，福冨 友馬，濱田 祐斗，藤田 教寛，永山 貴紗子，中村 祐人，渡井 健太郎，林 浩昭，上出 庸介，石井 豊太，森 晶夫，谷口 正実

第 60 回日本呼吸器学会学術講演会, 2020. 9, Web 開催

8. 〈PP686〉重症喘息に対する dupilumab の有効性についての検討

中村 祐人，上出 庸介，藤田 教寛，岩田 真紀，永山 貴紗子，濱田 祐斗，渡井 健太郎，劉 楷，林 浩昭，福冨 友馬，関谷 潔史，森 晶夫，谷口 正実

第 60 回日本呼吸器学会学術講演会, 2020. 9, Web 開催

9. 〈PP948〉In vitro 検査で原因真菌を同定し得た超音波式加湿器肺の 2 例

劉 楷，関谷 潔史，齋藤 明美，藤田 教寛，岩田 真紀，永山 貴紗子，中村 祐人，濱田 祐斗，渡井 健太郎，林 浩昭，上出 庸介，福冨 友馬，森 晶夫，谷口 正実

第 60 回日本呼吸器学会学術講演会, 2020. 9, Web 開催

10. 〈PP704〉血清中 galectin−10 は好酸球性多発血管炎性肉芽腫症（EGPA）で高値を示す

上出 庸介，植木 重治，藤田 教寛，岩田 真紀，永山 貴紗子，中村 祐人，渡井 健太郎，濱田 祐斗，劉 楷，林 浩昭，福冨 友馬，関谷 潔史，森 晶夫，福地 峰世，谷口 正実

第 60 回日本呼吸器学会学術講演会, 2020. 9, Web 開催

11. 〈PP441〉喘息大発作入院症例における退院後の通院状況に関する検討

関谷 潔史，渡井 健太郎，藤田 教寛，岩田 真紀，永山 貴紗子，矢野 光一，中村 祐人，濱田 祐斗，劉 楷，林 浩昭，上出 庸介，福冨 友馬，森 晶夫，谷口 正実

第 60 回日本呼吸器学会学術講演会, 2020. 9, Web 開催

12. 〈P436〉喘息患者における経口ステロイド薬の使用と糖尿病有病率の関連：レセプトデータによる解析

富田 康裕，福冨 友馬，入江 真理，畦川 和弘，中村 陽一，岡田 千春，下田 照文，佐野 未来，小島 克之，谷口 正実

第 60 回日本呼吸器学会学術講演会, 2020. 9, Web 開催

13. 〈PP446〉日本人成人における効率的なアトピー素因確認法

田中 淳，福冨 友馬，北原 麻子，大新田 可奈，岡田 直樹，服部 繁明，友松 克允，白石 良樹，小熊 剛，浅野 浩一郎

第 60 回日本呼吸器学会学術講演会, 2020. 9, Web 開催

14. 〈PP707〉日本人一般成人における特異的 IgE 抗体価陽性アレルゲンの相関

北原 麻子，山本 義郎，福冨 友馬，白石 良樹，岡田 直樹，服部 繁明，田中 淳，小熊 剛，谷口 正実，浅野 浩一郎

第 60 回日本呼吸器学会学術講演会, 2020. 9, Web 開催

15. 〈PP707〉フェノタイプ別の喘息憎悪因子の同定−他施設共同前向きコホート研究−

長瀬 洋之，岩永 賢司，田中 明彦，増子 裕典，斎藤 純平，鈴川 真穂，町田 健太朗，相良 博典，檜澤 伸之，中村 裕之，井上 博雅，谷口 正実，東田 有智，太田 健

第 60 回日本呼吸器学会学術講演会, 2020. 9, Web 開催

16. 〈PP786〉蜜柑農家男性に発症した過敏性肺炎の 1 例

沓澤 直賢，滝原 崇久，服部 繁明，髙橋 茉里，髙橋 史成，榎田 啓十，堀尾 幸弘，白石 良樹，新美 京子，伊藤 洋子，瑞山 直樹，小熊 剛，青木 琢也，今西 規，福冨 友馬，亀井 克彦，浅野 浩一郎

第 60 回日本呼吸器学会学術講演会, 2020. 9, Web 開催

17. 〈P−07〉コウヨウザン花粉とスギ花粉との交差抗原性

近藤 禎二，福冨 友馬，齋藤 明美，生方 正俊

日本花粉学会 第 61 回大会, 2020. 10, Web 開催

18. 〈P−17〉相模原市における空中飛散花粉の推移

齋藤 明美，川村 朋子，福冨 友馬，石井 豊太

日本花粉学会 第 61 回大会, 2020. 10, Web 開催

19. 〈P−687〉好酸球性多発血管炎性肉芽腫症（EGPA) における血清中 galectin−10 の検討

上出 庸介

第 74 回国立病院総合医学会, 2020. 10, Web 開催

20. 〈P678〉難治性喘息と誤って診断された狭窄音を伴う慢性咳嗽の一例

河崎 裕一郎

第 74 回国立病院総合医学会, 2020. 10, Web 開催

21. 〈一般演題 1〉当院におけるラテックスアレルギーおよびラテックス・フルーツ症候群の認識調査

矢野 光一，岩田 真紀，永山 貴紗子，濱田 祐斗，劉 楷，渡井 健太郎，上出 庸介，森 晶夫，谷口 正実，福冨 友馬，関谷 潔史

第 51 回日本職業･環境アレルギー学会総会･学術大会, 2020. 11, 岡山市

22. 〈教育セミナー〉好酸球性多発血管炎性肉芽腫症（EGPA）診療の現状

関谷 潔史

第 242 回日本呼吸器学会関東地方会, 2020. 11, Web 開催

23. 難治性喘息と誤って診断された慢性咳嗽の 1 例

早崎 学，河崎 裕一郎，岩田 真紀，岩本 圭右，永山 貴紗子，矢野 光一，中村 祐人，劉 楷，上出 庸介，関谷 潔史

第 665 回関東地方会, 2020. 12, Web 開催

24. 成人領域の食物アレルギー

福冨 友馬

第 21 回食物アレルギー研究会, 2021. 2, Web 開催

25. 〈第 5 回〉「診る。」花粉症

福冨 友馬，大嶋 秀康

市民フォーラム　花粉症, 2021. 2, Web 開催

［学術講演・他］

1. 〈Session1〉重症喘息治療の診断と治療戦略

上出 庸介

Kanagawa Teams Meeting, 2020. 6, Web 開催

2. 〈Discussion〉COVID-19　感染に対する外来と病棟管理

萩原 恵理，上出 庸介，日比野 真

Kanagawa Teams Meeting, 2020. 6, Web 開催

3. 〈Session1〉重症喘息治療の診断と治療戦略

上出 庸介

Kanagawa Innovative respiratory TEams meeting ～ひまわりの会～, 2020. 7, Web 開催

4. 〈Discussion〉With　COVID-19　時代の喘息治療を考える

宮尾 直樹，山本 昌樹，上出 庸介

Kanagawa Innovative respiratory TEams meeting ～ひまわりの会～, 2020. 7, Web 開催

5. 重症喘息の合併症（アレルギー性気管支肺アスペルギルス症）

福冨 友馬

第 40 会六甲カンファレンス, 2020. 8, 大阪市

6. 重症喘息病態における Type2 炎症の位置づけと治療戦略

上出 庸介

Dupixent Webinar Metropolitan, 2020. 9, Web 開催

7. 〈特別講演Ⅰ〉喘息の難治化因子～アレルゲンの重要性も含めて～

関谷 潔史

Severe　Asthma　Type2　Forum　2020　in　Osaka, 2020. 9, 大阪市

8. 喘息における長期管理の考え方

関谷 潔史

Teams Interactive Meeting エナジア発売記念講演会　In Kanagawa, 2020. 9, Web 開催

9. 重症喘息におけるオマリズマブが有効と考えられる難治化因子

関谷 潔史

IgE Forum 2020, 2020. 10, Web 開催

10. 〈特別講演〉喘息の難治化因子～アレルゲン同定も含めて～

関谷 潔史

FIRST Frontier of　Immunology and Respirology Study in Tokyo, 2020. 10, Web 開催

11. 〈Part1〉重症花粉アレルギーの臨床スペクトラム

福冨 友馬

Allergy Aware Program 2020, 2020. 10, Web 開催

12. 喘息の難治化因子～アレルゲンの重要性も含めて～

関谷 潔史

Severe Asthma Management WEB 講演会, 2020. 10, Web 開催

13. 〈実践アレルギー講座 8〉成人のアレルギー

福冨 友馬

2020 年度　アレルギー相談員養成研修会, 2020. 10, Web 開催

14. IL-4 および IL-13 のシグナル伝達を阻害する　Dupilumab の可能性

関谷 潔史

Sanofi Airway Forum in Kanagawa, 2020. 11, Web 開催

15. 〈Key Note Lecture〉喘息診療における特異的 IgE 抗体測定の重要性の合併アレルギー性鼻炎

福冨 友馬

福島 IgE ミーティング, 2020. 11, Web 開催

16. 喘息の診断と“重症”の評価

上出 庸介

Kanagawa Asthma Online Lecture, 2020. 11, Web 開催

17. 〈特別講演〉喘息治療における特異的 IgE 抗体測定の重要性

福冨 友馬

Novartis Asthma Online Seminar, 2020. 11, Web 開催

18. 〈特別講演〉難治性喘息治療のポイントとコツ

上出 庸介

これで目指そう！喘息疾病負担ゼロセミナー, 2020. 11, Web 開催

19. 喘息の難治化因子～アレルゲンの重要性も含めて～

関谷 潔史

第 38 回西横浜喘息･COPD 懇話会　-Web 講演会ー, 2020. 12, Web 開催

20. 〈特別講演〉喘息診療における原因アレルゲン同定

福冨 友馬

第 23 会城北呼吸器疾患フォーラム, 2020. 12, Web 開催

21. 〈特別講演〉喘息における薬物使用と吸入指導の重要性

関谷 潔史

藤沢市内科医会　学術講演会, 2020. 12, Web 開催

22. 〈講演 1〉重症花粉アレルギーの臨床スペクトラム

福冨 友馬

花粉治療の最前線 TIM, 2021. 1, Web 開催

23. 〈Session2〉医療従事者が知っておくと役立つアレルギー疾患

関谷 潔史

Allergic conference, 2021. 2, Web 開催

24. 〈特別講演Ⅰ〉成人の食物アレルギー

福冨 友馬

第 19 回埼玉アレルギー研究会, 2021. 2, Web 開催

25. 〈Session ②〉難治性喘息の病態と治療～抗好酸球抗体への期待～

上出 庸介

Allergist in Tohoku Online Meeting, 2021. 3, Web 開催

26. 〈特別講演〉喘息治療の難治化因子　～アレルゲンの重要性も含めて～

関谷 潔史

Severe Asthma Forum in Himeji, 2021. 3, 姫路市

27. 〈ディスカッサント〉重症喘息治療において生物学的製剤の使い分けを探る

上出 庸介，小熊 剛，増田 誠

Severe Asthma Online Conference 2021 春, 2021. 3, Web 開催

28. 〈特別講演〉喘息診療に於ける投機的 IgE 抗体測定の重要性

福冨 友馬

Allergic Asthma Total Care Symposium, 2021. 3, Web 開催

29. 〈講演 2〉EGPA 治療の考え方

関谷 潔史

神奈川県内科医学会　リウマチ･膠原病対策委員会･呼吸器疾患対策委員会　学術 Web 講演会, 2021. 3, Web 開催

小児アレルギー分野

■英文原著・短報

1. **Dupilumab efficacy and safety in Japanese patients with uncontrolled, moderate-to-severe asthma in the phase 3 LIBERTY ASTHMA QUEST study**
   Tohda Y, Nakamura Y, Fujisawa T, Ebisawa M, Arima K, Miyata M, Takahashi Y, Rice MS, Deniz Y, Rowe P, Patel N, Graham NMH, Teper A
   Allergol Int.. 2020 May; 69(4): 578-587

2. **A randomized trial of oral immunotherapy for pediatric cow's milk-induced anaphylaxis: Heated vs unheated milk**
   Nagakura KI, Sato S, Miura Y, Nishino M, Takahashi K, Asaumi T, Ogura K, Ebisawa M, Yanagida N
   Pediatr Allergy Immunol. 2021 Jan;32(1):161-169

3. **Safe egg yolk consumption after a negative result for low—dose egg oral food challenge**
   Yanagida N, Sato S, Takahashi K, Asaumi T, Nagakura KI, Ogura K, Takamatsu N, Ebisawa M
   Pediatr Allergy Immunol. 2021 Jan;32(1):170-176

4. **Evaluation of oral immunotherapy efficacy and safety by maintenance dose dependency: A multicenter randomized study**
   Ogura K, Yanagida N, Sato S, Imai T, Ito K, Kando N, Ikeda M, Shibata R, Murakami Y, Fujisawa T, Nagao M, Kawamoto N, Kondo N, Urisu A, Tsuge I, Kondo Y, Sugai K, Uchida O, Urashima M, Taniguchi M, Ebisawa M
   World Allergy Organ J.. 2020 Sep; 13(10): 100463

5. **Formation of IgE-Allergen-CD23 Complex Changes in Children Treated with Subcutaneous Immunotherapy for Japanese Cedar Pollinosis**
   Asaumi T, Sato S, Yanagida N, Matsuhara H, Kobayashi S, Fukano C, Ohashi-Doi K, Ebisawa M
   Int Arch Allergy Immunol. 2021;182(3):190-194

6. **Food protein-induced enterocolitis syndrome triggered by egg yolk and egg white**
   Nishino M, Sato S, Nagakura KI, Takahashi K, Asaumi T, Ogura K, Ebisawa M, Yanagida N
   Pediatr Allergy Immunol. 2021 Apr;32(3):618-621

7. **Timing of onset of allergic symptoms following low-dose milk and egg challenges**
   Yanagida N, Sato S, Takahashi K, Ohtani K, Emura S, Shibukawa Y, Murano A, Komata T, Ishida W, Fujita H, Asaumi T, Nagakura KI, Ogura K, Ebisawa M
   Pediatr Allergy Immunol. Epub 2021 Jan 13

8. **Long-term follow-up of fixed low-dose oral immunotherapy for children with severe cow's milk allergy**

Miura Y, Nagakura KI, Nishino M, Takei M, Takahashi K, Asaumi T, Ogura K, Sato S, Ebisawa M, Yanagida N

Pediatr Allergy Immunol. Epub 2021 Jan 24

9. **Gibberellin-regulated protein sensitization in Japanese cedar (Cryptomeria japonica) pollen allergic Japanese cohorts**

Iizuka T, Takei M, Saito Y, Rumi F, Zheng J, Lu X, Chafey P, Broussard C, Guilloux L, Charpin D, Ebisawa M, Sénéchal H, Aizawa T, Poncet P

Allergy. Epub 2021 Mar 28

10. **Low-dose oral immunotherapy for walnut allergy with anaphylaxis: Three case reports**

Sasamoto K, Nagakura KI, Sato S, Yanagida N, Ebisawa M

Allergol Int. Epub 2021 Mar 3

■英文総説・著書

1. **Acute asthma management during SARS-CoV2-pandemic 2020**

Levin M, Morais-Almeida M, Ansotegui IJ, Bernstein J, Chang YS, Chikhladze M, Ebisawa M, Fiocchi A, Heffler E, Martin B, Papadopoulos NG, Peden D, Wong GWK

World Allergy Organ J. 2020 May 14;13(5):100125

2. **COVID-19, asthma, and biologic therapies: What we need to know**

Morais-Almeida M, Aguiar R, Martin B, Ansotegui IJ, Ebisawa M, Arruda LK, Caminati M, Canonica GW, Carr T, Chupp G, Corren J, Dávila I, Park HS, Hanania NA, Rosenwasser L, Sánchez-Borges M, Virchow JC, Yáñez A, Bernstein JA, Caraballo L, Chang YS, Chikhladze M, Fiocchi A, González-Diaz SN, Tanno LK, Levin M, Ortega-Martell JA, Passalacqua G, Peden DB, Rouadi PW, Sublett JL, Wong GWK, Bleecker ER

World Allergy Organ J. 2020 May 16;13(5):100126

3. **Editorial: Non-IgE-mediated food allergies**

Fiocchi A, Ebisawa M

Current Opinion in Allergy and Clinical Immunology 2020. 6; 20(3): 290-291

4. **ARIA digital anamorphosis: Digital transformation of health and care in airway diseases from research to practice**

Bousquet J, Ebisawa M, et al

Allergy. 2021 Jan;76(1):168-190

5. **Novel insights regarding anaphylaxis in children - With a focus on prevalence, diagnosis, and treatment**

Nagakura KI, Sato S, Asaumi T, Yanagida N, Ebisawa M

Pediatr Allergy Immunol. 2020 Nov;31(8):879-888

6. **Strategic Outlook toward 2030: Japan's research for allergy and immunology − Secondary publication**

Adachi T, Kainuma K, Asano K, Amagai M, Arai H, Ishii KJ, Ito K, Uchio E, Ebisawa M, Okano M, Kabashima K, Kondo K, Konno S, Saeki H, Sonobe M, Nagao M, Hizawa N, Fukushima A, Fujieda S, Matsumoto K, Morita H, Yamamoto K, Yoshimoto A, Tamari M

Allergol Int. 2020 Oct;69(4):561−570

7. **Japanese guidelines for food allergy 2020**

Ebisawa M, Iito K, Fujisawa T

Allergology International 2020. 7; 69(3): 370−386

8. **Japanese guidelines for childhood asthma 2020**

Arakawa H, Adachi Y, Ebisawa M, Fujisawa T

Allergology International 2020. 7; 69(3): 314−330

9. **Global implementation of the world health organization's International Classification of Diseases (ICD)−11: The allergic and hypersensitivity conditions model.**

Tanno LK, Chalmers R, Jacob R, Kostanjsek N, Bierrenbach AL, Martin B, Molinari N, Annesi−Maesano I, Papadopoulos NG, Sanchez−Borges M, Rosenwasser LJ, Ansontegui I, Ebisawa M, Sisul JC, Jares E, Gomez M, Agache I, Muraro A, Wong GWK, Thien F, Pawankar R, Mahr TA, Sublett JL, Lang DM, Casale T, Demoly P

Allergy. 2020. 9; 75(9): 2206−2218

10. **A Proposal From The Montpellier World Health Organization Collaborating Centre For Better Management And Prevention Of Anaphylaxis**

Tanno LK, Touati N, Allichon S, Martin B, Ebisawa M, Ansotegui I, Sanchez−Borges M, Cardona V, Greenberger PA, Ryan D, Pouessel G, Beaudouin E, Renaudin JM, Thiens F, Chang YS, Pawankar R, Gomez M, Jares E, Staffeld PL, Agache I, Muraro A, Mahr TA, Subett J, Casale T, Lang D, Demoly P

J Allergy Clin Immunol Pract. 2021 Feb;9(2):676−683. e1

11. **World allergy organization anaphylaxis guidance 2020**

Cardona V, Ansotegui IJ, Ebisawa M, El−Gamal Y, Fernandez Rivas M, Fineman S, Geller M, Gonzalez−Estrada A, Greenberger PA, Sanchez Borges M, Senna G, Sheikh A, Tanno LK, Thong BY, Turner PJ, Worm M

World Allergy Organ J. 2020 Oct 30;13(10):100472

12. **BIOLOGICAL TREATMENTS IN ALLERGY: PRESCRIBING PATTERNS AND MANAGEMENT OF HYPERSENSITIVITY REACTIONS**

Barakat L, Torres MJ, Phillips EJ, Caminati M, Chang YS, Caimmi D, Sanchez−Borges M, Rosenwasser L, Didier A, de Blay F, Fontaine JF, Bosse I, Lefevre S, Bassani C, De Filippo M, Ansotegui I, Morais−Almeida M, Ebisawa M, Martin B, Yu−Hor Thong B, Demoly P, Tanno LK

J Allergy Clin Immunol Pract. 2021 Mar;9(3):1396−1399. e2

13. Consensus on DEfinition of Food Allergy SEverity (DEFASE): Protocol for a systematic review

Arasi S, Nurmatov U, Turner PJ, Ansotegui IJ, Daher S, Dunn-Galvin A, Ebisawa M, Eigenmann P, Fernandez-Rivas M, Gupta R, Nowak-Wegrzyn A, Petrou S, Roberts G, Sánchez Borges MA, Sindher SB, Tanno LK, Vazquez-Ortiz M, Vickery BP, Wong GW, Fiocchi A

World Allergy Organ J. 2020 Dec 19;13(12):100493

14. Addressing risk management difficulties in children with food allergies

Eigenmann PA, Ebisawa M, Greenhawt M, Hourihane JO, Perry TT, Remington BC, Wood RA

Pediatr Allergy Immunol. Epub 2021 Feb 15

15. Management of food allergy in Japanese children

Nishino M

World Allergy Organization (WAO) Junior Member News. 2021 Jan; :

16. Efforts and future challenges concerning food allergy in Japan.

Nagakura KI

World Allergy Organization (WAO) Junior Member News. 2021 Jan; :

17. Allergy and coronavirus disease (COVID-19) international survey: Real-life data from the allergy community during the pandemic

Kase Tanno L, Demoly P, Martin B, Berstein J, Morais-Almeida M, Levin M, Fiocchi A, Sánchez-Borges M, R Caraballo L, Wong G, Antonio Ortega-Martell J, Rouadi P, Yáñez A, Lu Wang L, B Peden D, Chikhladze M, N González-Díaz S, Fontaine J, Sublett J, Chang Y, Passalacqua G, J Ansotegui I, Ebisawa M, Senna G, Caminati M

World Allergy Organization Journal. 2021 Feb; 14(2): 100515

18. COVID-19 vaccine-associated anaphylaxis: A statement of the World Allergy Organization Anaphylaxis Committee

Turner PJ, Ansotegui IJ, Campbell DE, Cardona V, Ebisawa M, El-Gamal Y, Fineman S, Geller M, Gonzalez-Estrada A, Greenberger PA, Leung ASY, Levin ME, Muraro A, Sánchez Borges M, Senna G, Tanno LK, Yu-Hor Thong B, Worm M; WAO Anaphylaxis Committee

World Allergy Organ J 2021. 2; 14(2): 100517

19. EAACI guideline: preventing the development of food allergy in infants and young children (2020 update)

Halken S, Muraro A, de Silva D, Khaleva E, Angier E, Arasi S, Arshad H, Bahnson HT, Beyer K, Boyle R, du Toit G, Ebisawa M, Eigenmann P, Grimshaw K, Hoest A, Jones C, Lack G, Nadeau K, O'Mahony L, Szajewska H, Venter C, Verhasselt V, Wong GW, Roberts G; European Academy of Allergy and Clinical Immunology Food Allergy and Anaphylaxis Guidelines Group

Pediatr Allergy Immunol. Epub 2021 Mar 29

■和文原著

1. 消費者庁「食物アレルギーに関連する食品表示に関する調査研究事業」平成 29（2017）年即時型食物アレルギー全国モニタリング調査結果報告

今井 孝成，杉崎 千鶴子，海老澤 元宏

アレルギー　2020. 6; 69(8): 701-705

2. 小児におけるダニ舌下免疫療法用錠剤の有効性，安全性及び免疫学的応答に対する体重の影響の検討

佐藤 さくら，　秦 宏興，　小林 聡子，　浅海 智之，　柳田 紀之，　東 竜二，　土井 雅津代，海老澤 元宏

アレルギー　2020. 11; 69(9): 918-927

3. 食物アレルギー患者における容器包装された加工食品ならびに飲食店での誤食に関する調査

徳永 郁香，佐藤 さくら，柳田 紀之，髙橋 亮平，杉崎 千鶴子，海老澤 元宏

アレルギー　2021. 3; 70(2): 118-126

■和文総説・著書

1. ②食物アレルギー　③アナフィラキシー

海老澤 元宏

小児科　小児診療ガイドライン　2020. 4; 61(5): 477-486

2. 小児のウイルス感染による喘息の治療にロイコトリエン受容体拮抗薬は有用か？

川本 典生，前田 麻由，高橋 亨平，足立 雄一

日本小児アレルギー学会誌　2020. 6; 34(2): s65-s66

3. アレルギー疾患

海老澤 元宏

名医のいる専門外来 2020-2021　2020. 7; : 168-171

4. アトピー性皮膚炎と食物アレルギー

海老澤 元宏

皮膚アレルギーフロンティア　2020. 7; 18 巻 2 号: 38-46

5. ④ピーナッツアレルギー，⑤甲殻類・軟体類・貝類アレルギー，⑥ナッツ類アレルギー

渡邉 八寿子

そのまま使える！シーン別食物アレルギーの栄養食事指導　2020. 8; : 28-41

6. ⑦果物アレルギー，⑧魚アレルギー，⑨その他のアレルギー（大豆，ソバ，肉，野菜）病院 2. 離乳食を始めるのが心配です

朴 善美

そのまま使える！シーン別食物アレルギーの栄養食事指導　2020. 8; : 42-57, 62-67

7. 食物アレルギー概論，栄養食事指導資料，Column 生活管理指導表の意義と読み方，Column 保育所における誤食と対策

柳田 紀之

そのまま使える！シーン別食物アレルギーの栄養食事指導　2020. 8; : 1–10, 58–61, 90–96, 118–122

8. そのまま使える！シーン別食物アレルギーの栄養食事指導

海老澤 元宏 （監修）

そのまま使える！シーン別食物アレルギーの栄養食事指導　2020. 8; : 1–189

9. 食物アレルギー対策と研究会の 20 年の歩み

海老澤 元宏

食物アレルギー研究会会誌　2020. 10; 20 巻 2 号: 86–89

10. 「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」初版作成から改訂までの長い道程　食物アレルギー・アナフィラキシーを中心に

海老澤 元宏

食物アレルギー研究会会誌　2020. 10; 20 巻 2 号: 14–18

11. Topics 食物アレルギー　食物アレルギー治療の今

海老澤 元宏

Newton 別冊, 身近な食品, 気になる食品の疑問に答えます, 科学的に正しい食品の大百科 2020. 10; : 156–161

12. 小児食物アレルギーの最先端の研究成果

海老澤 元宏，永倉 顕一，佐藤 さくら，柳田 紀之

医療　2020. 10; 74(10) : 437–440

13. 食物アレルギー

海老澤 元宏

アレルギア　2020. 10; 49: 15–17

14. 学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン　《令和元年度改定》

海老澤 元宏 （総括委員・作成委員(第章))

学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン　《令和元年度改定》 2020. 10; :

15. 小児気管支喘息治療・管理ガイドライン 2020

海老澤 元宏（ガイドライン総括委員会）

小児気管支喘息治療･管理ガイドライン 2020　2020. 10; :

16. 第 4 章 危険因子とその対策

永倉 顕一

小児気管支喘息治療･管理ガイドライン 2020　2020. 10; : 54–70

17. 食物アレルギー

佐藤 さくら

今日の小児治療指針　2020. 12; 第 17 版: 302–304

18. アレルゲン　アレルゲン　ナッツ類・種子類

佐藤 さくら

日本小児アレルギー学会誌　2020. 12; 34 巻 5 号: 612–619

19. 子どものアレルギーのすべてがわかる本

海老澤 元宏

子どものアレルギーのすべてがわかる本　2020. 12; :

20. その他の食物抗原アレルギーに対する経口免疫療法（小麦，果物，ナッツ類）

佐藤 さくら

アレルギー診療に携わる医療者のための小児アレルギー疾患　免疫療法 A to Z　2020. 12; : 87–93

21. ピーナッツアレルギーに対する経口免疫療法

永倉 顕一

免疫療法 A to Z　2020. 12; : 78–86

22. アレルゲン回避指導の実際

海老澤 元宏

今日の治療指針　2021. 1; 63: 849–850

23. 食物アレルギーは治せるのか

海老澤 元宏

Newton ライト 2. 0　食品の科学知識　2021. 1; : 74–75

24. 食物アレルギーにおける食事制限はどう指導すればよいですか？

佐藤 さくら

内科臨床誌 メディチーナ　2021. 2; vol. 58 No. 2: 318–321

25. 7　食物アレルギー診療の実際（小児）

海老澤 元宏

アレルギー診療必携ハンドブック　2021. 3; : 190–200

■国際発表

[学会_シンポジウム]

1. 〈APAPARI Joint Symposium〉 Molecular allergology in the diagnosis of food allergy

Ebisawa M

EAACI2020

2020 Jun, Web 開催

2. Module 5:Allergy Testing

Ebisawa M

WAO/ CMEA

2020 Jun, Web 開催

3. Module 6:Food Allergy

Ebisawa M

WAO/ CMEA

2020 Jun, Web 開催

4. Module 7:Atopic Dermatitis

Ebisawa M

WAO/ CMEA
2020 Jun, Web 開催

5. Module 8:Anaphylaxis

Ebisawa M

WAO/ CMEA
2020 Jun, Web 開催

6. 〈Lecture〉 WAO vision 2020: welcome future!

Ebisawa M

WISC2020
2020 Jul, Web 開催

7. 〈Session 7 – APAPARI / WAO session〉 Oral Immunotherapy for food anaphylaxis

Ebisawa M

WISC2020
2020 Jul, Web 開催

8. 〈Session 18〉 Oral immunotherapy treatment for food- induced anaphylaxis

Ebisawa M

WISC2020
2020 Jul, Web 開催

9. 〈SY-22(P-5)-3〉 Stepwise oral food challenge

Yanagida N

JSA/ WAO Joint Congress 2020
2020 Sep, Web 開催

10. 〈PL-3-1〉 Management of food allergy in Japan

Ebisawa M

JSA/ WAO Joint Congress 2020
2020 Sep, Web 開催

11. 〈SY-34(P-8)-1〉 Oral immunotherapy for food allergy

Sato S, Ebisawa M

JSA/ WAO Joint Congress 2020
2020 Sep, Web 開催

12. Module 1:Advances in IgE Testing, Q&A and Discussions

Ebisawa M

WAO/ CMEA Joint Symposium on Pediatric Allergy
2020 Oct, Web 開催

13. Module 3:Recent topics in Food Allergy

Ebisawa M

WAO/ CMEA Joint Symposium on Pediatric Allergy
2020 Oct, Web 開催

14. 〈Salon1〉Current approaches to diagnose food allergy

Ebisawa M

XXVIIth NATIONAL CONGRESS OF ALLERGY AND CLINICAL IMMUNOLOGY
2020 Oct, Web 開催

15. 〈Salon1〉Advanced management of food allergy

Ebisawa M

XXVIIth NATIONAL CONGRESS OF ALLERGY AND CLINICAL IMMUNOLOGY
2020 Oct, Web 開催

16. 〈Food Allergy〉Management of food allergy in Japan

Ebisawa M

CCAA2020
2020 Dec, Web 開催

17. 〈Theme 4 | Oral Immunotherapy〉Long-term outcomes of OIT

Ebisawa M

APAPARI 2021 Webinar Series
2021 Feb, Web 開催

18. 〈Live Symposium〉The Role of Precision Allergy Molecular Diagnostic Applications (PAMD@) in Food Allergy

Ebisawa M

AAAAI 2021
2021 Feb, Web 開催

[学会_一般演題]

1. 〈TPS 11 Food allergy 〉Time of initial symptom appearance during milk and egg oral food challenges: A multicenter prospective study

Yanagida N, Sato S, Takahashi K, Asaumi T, Nagakura K, Nishino M, Ogura K, Ebisawa M

EAACI2020
2020 Jun, Web 開催

2. 〈PDS 10 Food allergy〉Nationwide questionnaire-based survey of anaphylaxis related to oral food challenges in Japan

Sato S, Sugizaki C, Yanagida N, Ebisawa M

EAACI2020
2020 Jun, Web 開催

3. **〈PDS 10 Food allergy 〉Three cases of low-dose oral immunotherapy for severe walnut allergy**

Sasamoto K, Nagakura KI, Yanagida N, Sato S, Ebisawa M

EAACI2020

2020 Jun, Web 開催

4. **〈PDS 10 Food allergy 〉Most infants sensitized to egg can eat more than 1/2 heated whole egg**

Mitomori M, Nishino M, Yanagida N, Sato S, Ebisawa M

EAACI2020

2020 Jun, Web 開催

5. **〈TPS 12 Pediatric〉Changes of allergic disease prevalence at the age of 5 years with a 12-year interval**

Sugizaki C, Goto F, Yanagida N, Sato S, Ebisawa M

EAACI2020

2020 Jun, Web 開催

6. **〈TPS 11 Food allergy Recorded Scientific Content〉Risk factors for positive shrimp oral food challenge tests**

Yoshimoto H, Takahashi K, Ogura K, Yanagida N, Sato S, Ebisawa M

EAACI2020

2020 Jun, Web 開催

7. **〈MS-15-1〉Comparison of 3-year outcomes of wheat OIT between low dose and high dose**

Miura Y. Nagakura K, Yanagida N, Sato S, Ebisawa M

JSA/WAO Joint Congress 2020

2020 Sep, Web 開催

8. **〈MS12-2〉More than two third of shrimp allergy children acquire tolerance at 10 years of age**

Yoshimoto H, Takahashi K, Yanagida N, Sato S, Ebisawa M

JSA/WAO Joint Congress 2020

2020 Sep, Web 開催

9. **〈MS12-4〉Investigation of the optimal medium-dose egg oral food challenge method in children with positive ovomucoid-specific IgE**

Takahashi K, Yanagida N, Nishino M, Asaumi T, Nagakura K, Ogura K, Sato S, Ebisawa M

JSA/WAO Joint Congress 2020

2020 Sep, Web 開催

10. **〈MS5-6〉Assessment of the pharmacokinetics, pharmacodynamics, and safety of low dose intra-nasal epinephrine (ARS-1) with intramuscular by needle-syringe and EpiPen in patients with induced allergic rhinitis**

Ebisawa M, E Lowenthal R. E., Tanimoto S

JSA/ WAO Joint Congress 2020
2020 Sep, Web 開催

11. 〈MS19-1〉 Comparison of allergic march with 20 year interval

Itonaga T, Asaumi T, Nishino M, Takahashi K, Nagakura K, Iguchi M, Ogura K, Yanagida N, Sato S, Ebisawa M

JSA/ WAO Joint Congress 2020
2020 Sep, Web 開催

12. 〈MS14-3〉 Food protein-induced enterocolitis syndrome due to egg yolk and egg white in Japanese infants

Nishino M, Yanagida N, Sato S, Nagakura KI, Takahashi K, Ogura K, Ebisawa M

JSA/ WAO Joint Congress 2020
2020 Sep, Web 開催

13. 〈MS15-6〉 Epicutaneous immunotherapy for severe milk allergy utilizing a novel antigen delivery device: a double-blind placebo-controlled pilot study

Kuwabara Y, Nagao M, Ito S, Okada N, Saito M, Quan Y, Kamiyama F, Ito K, Ebisawa M, Adachi Y, Kameda M, Yoshihara S, Hoshioka A, Tsukui M, Oshima Y, Arakawa H, Shimojo N, Itoh N, Fujisawa T

JSA/ WAO Joint Congress 2020
2020 Sep, Web 開催

14. 〈MS4-5〉 Egg introduction with the existence of eczema promotes sensitization to egg at the age of 12 months

Futamura M, Yamamoto M, Yanagida N, Igarashi T, Yanai T, Kamimaki I, Bonno M, Nakashima N

JSA/ WAO Joint Congress 2020
2020 Sep, Web 開催

15. 〈PE17-2〉 Clinical cross-reactivity to quail's egg in patients with hen's egg allergy

Mitomori M, Takei M, Tada K, Nishino M, Yanagida N, Sato S, Ebisawa M

JSA/ WAO Joint Congress 2020
2020 Sep, Web 開催

16. 〈PE19-17〉 Changes in the clinical presentation of infants' food allergies at first onset and the impact of early food introduction in a 9-year period

Ogura K, Takahashi K, Yanagida N, Sato S, Ebisawa M

JSA/ WAO Joint Congress 2020
2020 Sep, Web 開催

17. 〈PE21-1〉 Three-year outcomes of oral immunotherapy using dried egg powder for severe hen's egg allergy

Sasamoto K, Nagakura K, Yanagida N, Sato S, Ebisawa M

JSA/ WAO Joint Congress 2020
2020 Sep, Web 開催

18. 〈PE20-3〉 Efficacy of bronchodilators for moderate respiratory symptoms in oral food challenges

Kitatsu T, Fusayasu N, Asaumi T, Yanagida N, Sato S, Ebisawa M

JSA/ WAO Joint Congress 2020

2020 Sep, Web 開催

19. 〈PE20-14〉 Safety of low-dose cow's milk oral food challenges administered in two doses at 60-minute intervals

Kojima N, Nishino M, Otake N, Kitatsu T, Yanagida N, Sato S, Ebisawa M

JSA/ WAO Joint Congress 2020

2020 Sep, Web 開催

20. 〈PE23-2〉 Changes of immunological response with subcutaneous immunotherapy for Japanese cedar

Asaumi T, Sato S, Yanagida N, Matubara H, Kobayashi S, Fukano C, Ohashi-Doi K, Ebisawa M

JSA/ WAO Joint Congress 2020

2020 Sep, Web 開催

21. 〈PE17-3〉 Cross-allergenicity between hen's egg and quail's egg in patients allergic to hen's egg

Takei M, Mitomori M, Tada K, Yanagida N, Sato S, Saito A, Ebisawa M

JSA/ WAO Joint Congress 2020

2020 Sep, Web 開催

22. 〈PE20-1〉 Three-year prognosis of fish allergy in children

Fusayasu N, Asaumi T, Taniguchi H, Yanagida N, Sato S, Ebisawa M

JSA/ WAO Joint Congress 2020

2020 Sep, Web 開催

23. 〈PE18-2〉 Combinations of anaphylaxis symptoms in oral food challenges

Otake N, Asaumi T, Yanagida N, Sato S, Ebisawa M

JSA/ WAO Joint Congress 2020

2020 Sep, Web 開催

24. 〈PE21-13〉 ω-5 gliadin-sIgE/ total IgE predicts long-term outcome of low-dose OIT for severe wheat allergy

Nagakura K, Yanagida N, Sato S, Miura Y, Nishino M, Takahashi K, Asaumi T, Ogura K, Ebisawa M

JSA/ WAO Joint Congress 2020

2020 Sep, Web 開催

25. 〈PE19-9〉 Sensitization to gibberellin-regulated protein in hinoki cypress pollen is associated with severity of peach allergy

Maruyama N, Sato S, Sho K, Cabanos C, Ebisawa M

JSA/ WAO Joint Congress 2020

2020 Sep, Web 開催

26. 〈PE19-14〉Sensitization to hen's egg during early infancy in a cohort study of Japanese infants with eczema

Takei M, Yanagida N, Sato S, Watanabe Y, Kobayashi S, Kaneko H, Fujiwara M, Shinahara W, Kido H, Ebisawa M

JSA/ WAO Joint Congress 2020
2020 Sep, Web 開催

27. 〈PE18-10〉Factors associated with passing small dose milk oral food challenges

Taniguchi H, Hirase S, Hara M, Koshiba Y, Kaji M, Itani K, Nakano K, Ota K, Ebisawa M

JSA/ WAO Joint Congress 2020
2020 Sep, Web 開催

■国内発表

[学会_シンポジウム]

1. 〈3-01〉アナフィラキシーの現状と対応

海老澤 元宏

第 14 回相模原臨床アレルギーセミナー, 2020. 8, Web 開催

2. 〈3-05〉食物アレルギーの診断

佐藤 さくら

第 14 回相模原臨床アレルギーセミナー, 2020. 8, Web 開催

3. 〈3-06〉食物経口負荷試験の実際

柳田 紀之

第 14 回相模原臨床アレルギーセミナー, 2020. 8, Web 開催

4. 日本小児アレルギー学会の国際化への取り組み

海老澤 元宏

第 123 回日本小児科学会学術集会, 2020. 8, 神戸市

5. 〈ES-2〉アナフィラキシーに正しく備えるための最新の患者教育

佐藤 さくら

JSA/ WAO Joint Congress 2020　第 69 回日本アレルギー学会学術大会, 2020. 9, Web 開催

6. 〈シンポジウム 2-2〉食物アレルギー診療ガイドライン

伊藤 浩明, 海老澤 元宏

第 57 回日本小児アレルギー学会学術大会, 2020. 10, web 開催

7. 〈シンポジウム 3-3〉食物アレルギーの診断の最前線

佐藤 さくら, 海老澤 元宏

第 57 回日本小児アレルギー学会学術大会, 2020. 10, web 開催

8. 〈シンポジウム　S2-2〉小児の食物アレルギー最前線

海老澤 元宏

第 50 回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会, 2020. 12, 高知市・Web 開催

9. 『食物アレルギー診療ガイドライン』改訂に向けて―改訂のポイント―

海老澤 元宏

第 21 回食物アレルギー研究会, 2021. 2, Web 開催

10. 食物経口負荷試験の層別化

佐藤 さくら，高橋 亨平，海老澤 元宏

第 21 回食物アレルギー研究会, 2021. 2, Web 開催

11. 〈教育講演 2〉食物アレルギーの診断の進歩

海老澤 元宏

第 5 回日本アレルギー学会関東地方会　, 2021. 3, 東京

［学会_一般演題］

1. 〈MS3-5〉即時型クルミアレルギー児に対する少量経口負荷試験後の再現性の問題

笹本 光紀，永倉 顕 一，柳田 紀之，佐藤 さくら，海老澤 元宏

第 57 回日本小児アレルギー学会学術大会, 2020. 10, Web 開催

2. 〈O-34〉小児におけるダニ舌下免疫療法の 1 年経過

吉本 裕良，浅海 智之，高橋 亨平，柳田 紀之，佐藤 さくら，海老澤 元宏

第 57 回日本小児アレルギー学会学術大会, 2020. 10, Web 開催

3. 〈O-50〉レセプト情報・特定検診等情報データベースを用いたアレルギー疫学研究：2017 年度のアドレナリン自己注射剤の処方状況

貝沼 圭吾，野田 龍也，西岡 祐，久保 慎一郎，二村 昌樹，森田 英明，佐藤 さくら，長尾 みづほ，松本 健治，海老澤 元宏，藤澤 隆夫，今村 知明，玉利 真由美

第 57 回日本小児アレルギー学会学術大会, 2020. 10, Web 開催

4. 〈O-67〉ピーナッツとの交差抗原性により発症したフェヌグリークアレルギーの一例

竹井 真理，齋藤 明美，柳田 紀之，佐藤 さくら，海老澤 元宏

第 57 回日本小児アレルギー学会学術大会, 2020. 10, Web 開催

5. 〈O-82〉ピーナッツを未摂取で感作のため除去中の児の症状誘発閾値の検討

水戸守 真寿，西野 誠，柳田 紀之，佐藤 さくら，海老澤 元宏

第 57 回日本小児アレルギー学会学術大会, 2020. 10, Web 開催

6. 〈O-110〉気管支喘息を対象とする国際共同第 3 相試験 QUEST：小児集団における Dupilumab の有効性および安全性について

藤澤 隆夫，海老澤 元宏，増田 敬，宮田 将徳，JF Maspero，N Daizadeh，N Pandit-Abid，B Ortiz，P Rowe，Y Deniz

第 57 回日本小児アレルギー学会学術大会, 2020. 10, web 開催

7. 〈O-127〉卵黄の atypical food proteininduced enterocolitis syndrome に卵白によるアナフィラキシーを合併した症例

西野 誠，柳田 紀之，佐藤 さくら，永倉 顕一，高橋 亨平，小倉 聖剛，海老澤 元宏

第 57 回日本小児アレルギー学会学術大会, 2020. 10, web 開催

8. 〈O-132〉小児期の季節性アレルギー性鼻炎に対するオマリズマブの有効性と安全性

貴達 俊徳，浅海 智之，房安 直子，柳田 紀之，佐藤 さくら，海老澤 元宏

第 57 回日本小児アレルギー学会学術大会, 2020. 10, web 開催

9. エピペン（EP) 新規処方食物アレルギー（FA) 患者の経年的なアナフィラキシー（An) 発生率と EP 使用率

宮林 広樹，髙橋 亮平，柳田 紀之，佐藤 さくら，海老澤 元宏

第 4 回日本アレルギー学会関東地方会, 2020. 11, 東京

10. 「『食物アレルギーの診療の手引き 2017』と　『食物アレルギーの栄養食事指導の手引き 2017』Q&A の解説」

髙橋 亨平，林 典子

第 21 回食物アレルギー研究会, 2021. 2, Web 開催

11. 即時型クルミアレルギー児に対する少量食物経口負荷試験後の再現性の問題

笹本 光紀，永倉 顕一，柳田 紀之，佐藤 さくら，海老澤 元宏

第 21 回食物アレルギー研究会, 2021. 2, Web 開催

12. エピペン ® 新規処方食物アレルギー患者の経年的なアナフィラキシー発生率とエピペン ® 使用率

宮林 広樹，髙橋 亨平，柳田 紀之，佐藤 さくら，海老澤 元宏

第 21 回食物アレルギー研究会, 2021. 2, Web 開催

13. わが国のアドレナリン自己注射剤(エピペン®) 処方状況

貝沼 圭吾，野田 龍也，西岡 祐，久保 慎一郎，二村昌樹，森田 英明，佐藤 さくら，長尾みづほ，松本健治，海老澤 元宏，藤澤隆夫，今村 知明，玉利 真由美

第 21 回食物アレルギー研究会, 2021. 2, Web 開催

14. 6 歳以降まで遷延した IgE 依存性牛乳アレルギー児の 12 歳までの耐性化率

久保田 慧，永倉 顕一，江尻 勇樹，柳田 紀之，佐藤 さくら，海老澤 元宏

第 5 回日本アレルギー学会関東地方会　, 2021. 3, 東京

［学術講演・他］

1. 乳幼児のための食育とアレルギーについて学ぶ

小倉 聖剛

東京都保育士等キャリアアップ研修（日本 educe 食育総合研究所）, 2020. 7, 東京

2. 小児気管支ぜん息の基礎知識と最新情報，ぜん息発症予防のためのアトピー性皮膚炎・食物アレルギーの基礎知識と患者教育の重要性

佐藤 さくら

令和 2 年度公害健康被害予防事業研修（ソフト 3 事業研修）, 2020. 7, Web 開催

3. 〈特別講演〉小児アナフラキシーの特徴と対応

佐藤 さくら

アナフィラキシー啓発メディアセミナーから守るためのセミナー, 2020. 7, Web 開催

4. 小児ぜん息とアレルギー性鼻炎（花粉症）

浅海 智之

相模原市慢性疾患児講演会, 2020. 7, 相模原市

5. 食物アレルギー（アナフィラキシーへの対応）

小倉 聖剛

相模原市：養護教諭新採用研修, 管理栄養士・栄養士新採用研修, 管理栄養士・栄養士 2 年次研修講座, 2020. 9, 相模原市

6. 〈特別講演〉アナフィラキシーに正しく備えるための最新の患者教育

佐藤 さくら

症例を基に考えるアナフィラキシーの実践, 2020. 9, Web 開催

7. 食物アレルギーの基礎知識と対応

佐藤 さくら

令和 2 年度「第 4 回食と健康スペシャル講座～食物アレルギー～」, 2020. 9, 水戸市

8. 〈特別講演〉食物アレルギー診療の最新情報と均てん化への取り組み

佐藤 さくら

アナフィラキシーからこどもを守るためのセミナー, 2020. 10, Web 開催

9. 中心拠点病院の役割

海老澤 元宏

Food Allergy & Anaphylaxis Regional Expert Forum in NIIGATA・GUNMA～食物アレルギー＆アナフィラキシーを考える, 2020. 10, Web 開催

10. 中心拠点病院の役割

海老澤 元宏

Food Allergy & Anaphylaxis Regional Expert Forum in KEIJI HOKURIKU SHINSHU～食物アレルギー＆アナフィラキシーを考える, 2020. 10, Web 開催

11. 食物アレルギーとアトピー性皮膚炎の最新情報と正しい対処法

永倉 顕一

町田市保健所保健予防課主催アレルギー教室, 2020. 10, Web 開催

12. ゴマの負荷試験とその陽性反応を予見するコンポーネントの有用性

海老澤 元宏

第 35 回日本ゴマ科学会大会, 2020. 10, 奈良市

13. 実践アレルギー講座 1 食物アレルギー

海老澤 元宏

アレルギー相談員養成研修会, 2020. 10, Web 開催

14. 学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン《令和元年度改訂》

海老澤 元宏

令和 2 年度文部科学省補助事業『アレルギー講習会(学校における普及啓発講習会)』, 2020. 10, 横浜市

15. 食物アレルギー

小倉 聖剛

相模原市慢性疾患児講演会, 2020. 10, 相模原市

16. 〈市民公開講座〉食物アレルギー

佐藤 さくら

第 57 回日本小児アレルギー学会学術大会, 2020. 10, 横浜市

17. 食物アレルギーへの対応方法

佐藤 さくら

食物アレルギーの対応研修, 2020. 11, 相模原市

18. アレルギーの基礎, 救急対応等について

高橋 亨平

相模原市児童相談所, 2020. 11, 相模原市

19. 食物アレルギーの治療と管理の最新情報

佐藤 さくら

エピペン全国 WEB 講演会, 2020. 11, Web 開催

20. 食物アレルギーの知識と対応

永倉 顕一

町田市保健所保健予防課主催アレルギー教室, 2020. 11, Web 開催

21. アレルギー疾患の理解

高橋 亨平

食物アレルギーに関する講演会, 2020. 11, 東京

22. 赤ちゃんからできる食物アレルギー対策とスキンケア

高橋 亨平

母子健康教育, 2020. 11, 厚木市

23. 相模原病院での 25 年間と食物アレルギーの管理の進歩

海老澤 元宏

愛宕小児科医会, 2020. 12, Web 開催

24. 保育所等におけるアレルギー対応について

佐藤 さくら

食物アレルギー講習会, 2020. 12, Web 開催

25. アトピー性皮膚炎

西野 誠

相模原市慢性疾患児講演会, 2021. 1, 相模原市

26. 〈特別講演〉食物アレルギーの診断と管理

海老澤 元宏

第 84 回練馬区医師会小児科医会学術講演会, 2021. 1, Web 開催

27. 食物アレルギー治療の最新情報～均てん化への試み～

佐藤 さくら

第 77 回　静岡小児アレルギー研究会, 2021. 2, Web 開催

28. 〈特別講演〉学校のアレルギー疾患取り組みガイドラインの改定のポイント

海老澤 元宏

アナフィラキシー勉強会, 2021. 2, Web 開催

リウマチ分野

1）リウマチ科

■英文原著・短報

1. Modulation of methotrexate-induced intestinal mucosal injury by dietary factors.

Higuchi T, Yoshimura M, Oka S, Tanaka K, Naito T, YuharaS, Warabi E, Mizuno S, Ono M, Takahashi S, Tohma S, Tsuchiya N, Furukawa H

Hum Exp Toxicol. 2020 Apr; 39(4): 500-513

2. Related factors, increased mortality and causes of death in patients with rheumatoid arthritis-associated interstitial lung disease.

Kakutani T, Hashimoto A, Tominaga A, Kodama K, Nogi S, Tsuno H, Ogihara H, Nunokawa T, Komiya A, Furukawa H, Tohma S, Matsui T

Mod Rheumatol. 2020 May; 30(3): 458-464

3. The development of quality indicators for systemic lupus erythematosus using electronic health data: a modified RAND appropriateness method.

Yajima N, Tsujimoto Y, Fukuma S, Sada K, Shimizu S, Niihata K, Takahashi R, Asano Y, Azuma T, Kameda H, Kuwana M, Kohsaka H, Sugiura-Ogasawara M, Suzuki K, Takeuchi T, Tanaka Y, Tamura N, Matsui T, Mimori T, Fukuhara S, Atsumi T

Mod Rheumatol. 2020 May; 30(3): 525-531

4. A Proposal to Standardize Low Disease Activity Criteria in Rheumatoid Arthritis Based on the Outcome Measures in Rheumatology Minimal Disease Activity Definition.

Yokogawa N, Shimada K, Sugii S, Komiya A, Matsui T, Nishino J, Tohma S

ACR Open Rheumatol. 2020 May; 2(5): 301-306

5. Higher disease activity and lower renal function in patients with rheumatoid arthritis are associated with loss of muscle mass: results from a long-term follow-up study.

Nogi S, Hashimoto A, Tohma S, Matsui T

JCSM Clinical Reports 2020. 2020 Jun; 5: 63-68

6. Human leukocyte antigen in Japanese patients with idiopathic inflammatory myopathy.

Furukawa H, Oka S, Kawasaki A, Hidaka M, Shimada K, Kondo Y, Ihata A, Matsushita T, Matsumoto T, Hashimoto A, Matsumoto I, Komiya A, Kobayashi K, Osada A, Katayama M, Okamoto A, Setoguchi K, Kono H, Hamaguchi Y, Matsui T, Fukui N, Tamura H, Takehara K, Nagaoka S, Sugii S, Sumida T, Tsuchiya N, Tohma S

Mod Rheumatol. 2020 Jul; 30(4): 696-702

7. Squamous Cell Lung Cancer: Methotrexate Withdrawal Induced Spontaneous Regression of Liver Metastases

Hashimoto A, Kawasaki Y, Tominaga A, Kakutani T, Kodama K, Nogi S, Tsuno H, Ogihara H, Nunokawa T, Ikenaka T, Watai K, Saito I, Matsui T

Journal of Clinical Rheumatology. 2020 Aug; 26(5): e137

8. Risk of serious infection, malignancy, or death in Japanese rheumatoid arthritis patients treated with a combination of abatacept and tacrolimus: a retrospective cohort study.

Tokunaga K, Matsui K, Oshikawa H, Matsui T, Tohma S

Clin Rheumatol. 2020 Oct; :

9. Association of functional (GA)n microsatellite polymorphism in the FLI1 gene with susceptibility to human systemic sclerosis.

Yamashita K, Kawasaki A, Matsushita T, Furukawa H, Kondo Y, Okiyama N, Nagaoka S, Shimada K, Sugii S, Katayama M, Hirohata S, Okamoto A, Chiba N, Suematsu E, Setoguchi K, Migita K, Sumida T, Tohma S, Hamaguchi Y, Hasegawa M, Sato S, Kawaguchi Y, Takehara K, Tsuchiya N

Rheumatology. 2020 Nov; 59(11): 3553-3562

10. Serum Metabolomic Profiling in Rheumatoid Arthritis Patients With Interstitial Lung Disease: A Case-Control Study.

Furukawa H, Oka S, Shimada K, Okamoto A, Hashimoto A, Komiya A, Saisho K, Yoshikawa N, Katayama M, Matsui T, Fukui N, Migita K, Tohma S

Front Med (Lausanne). 2020 Dec;7: 599794

11. Early initiation of plasma exchange therapy for a patient with anti-MDA5 autoantibody-positive dermatomyositis developing rapidly progressive interstitial lung disease.

Sasaki N, Ishii A, Kurabayashi T, Sugiyama M, Izumi Y, Nakagome Y, Hirano K, Sasaki S, Kondo Y, Nogi S, Nishikawa A, Hosono Y, Yamada C, Sato S

Modern Rheumatology Case Reports. 2021 Jan; 5(1): 87-94

12. The attenuation of insulin-like growth factor signaling may be responsible for relative reduction in matrix synthesis in degenerated areas of osteoarthritic cartilage.

Tanaka N, Tsuno H, Ohashi S, Iwasawa M, Furukawa H, Kato T, Fukui N

BMC Musculoskeletal Disorders. 2021 Feb; 22(1): 231

■英文総説・著書

1. Genetic risk factors for autoimmune hepatitis: implications for phenotypic heterogeneity and biomarkers for drug response

Higuchi T, Oka S, Furukawa H, Tohma S, Yatsuhashi H, Migita K

Hum Genomics. 2021 Jan;15(1): 6

■和文総説・著書

1. Ⅰ総論

松井 利浩（研究分担者 他）

成人診療科医のための小児リウマチ性疾患移行支援ガイド　2020. 5; :

2. 大規模関節リウマチデータベース“NinJa”が語る真実

松井 利浩

医療　2020. 10; 74(10): 447-449

3. Ninja ネットワークを利用した関節リウマチ関連間質性肺病変のバイオマーカー探索

古川 宏，岡 笑美

医療　2020. 10; 74(10) : 444–446

4. 関節リウマチに伴う肺病変のバイオマーカー

古川 宏，岡 笑美，當間 重人

臨床リウマチ　2021. 2; 32(4) : 318–322

5. 関節リウマチ治療における MTX の使用法

松井 利浩

ペインクリニック　2021. 3; Vol. 42 No. 3 通巻 400 号: 314–326

■国際発表

[学会_一般演題]

1. 〈Poster Presentations〉 Risk of serious infection, malignancy, or death in Japanese rheumatoid arthritis patients treated with a combination of abatacept and tacrolimus: a retrospective cohort study

Tokunaga K，Matsui K，Oshikawa H，Matsui T，Tohma S

EULAR 2020 (Annual European Congress of Rheumatology)

2020 Jun, Web 開催

2. 〈0183〉 Incidence of Malignancies in Japanese Patients with Rheumatoid Arthritis: Data from a Large Japanese National Registry

Matsui T，Sugiyama N，Kawaguchi T，Kamezaki A，Toyoizumi S，Matsuyama F，Murata T，Urata Y，Kawahata K，Tohma S

ACR Convergence Where Rheumatology Meets

2020 Nov, web 開催

■国内発表

[学会_シンポジウム]

1. 〈シンポジウム　S18–1〉 NinJa (National Database of Rheumatic Diseases in Japan)

松井 利浩

第 64 回日本リウマチ学会総会･学術集会, 2020. 8, Web 開催

2. 〈シンポジウム　S10–4〉 変形性関節症における滑膜病変

福井 尚志，田中 信帆，津野 宏隆，大橋 暁，岩澤 三康，古川 宏

第 64 回日本リウマチ学会, 2020. 8, Web 開催

3. 変形性関節症の病態に関する最近の理解ー痛みと疾患進行のメカニズムを中心にー

福井 尚志，田中 信帆，津野 宏隆，大橋 暁，岩澤 三康

第 35 回　日本整形外科基礎学術集会, 2020. 10, Web 開催

4. 〈シンポジウム　SY14–2〉 日本リウマチ性疾患データベース：NinJa (National Database of Rheumatic Diseases in Japan)

松井 利浩

第 74 回国立病院総合医学会, 2020. 10, Web 開催

［学会_一般演題］

1. 〈ワークショップ　W15-3〉変形性関節症および関節リウマチに罹患した軟骨から荷重によって遊離する因子の網羅的解析

津野 宏隆，田中 信帆，大橋 暁，岩澤 三康，松井 利浩，福井 尚志

第 64 回日本リウマチ学会総会･学術集会, 2020. 8, Web 開催

2. 〈P1-287〉当院で測定した全インターフェロン γ（T-SPOT）検査の陽性率経時変化及びリウマチ科内での陽性者の対応及び結核発症の予後に関する検討

野木 真一，富永 晃都，堀江 孝一郎，児玉 華子，岩田 香奈子，津野 宏隆，荻原 秀樹，小宮 明子，松井 利浩

第 64 回日本リウマチ学会総会･学術集会, 2020. 8, Web 開催

3. 〈W78-3〉呼吸困難で発症し，PR3-ANCA 異常高値と蛋白尿を認めた血管内大細胞型 B 細胞リンパ腫の一例

矢野 裕介，荻原 秀樹，富永 晃都，児玉 華子，野木 真一，津野 宏隆，小宮 明子，松井 利浩

第 64 回日本リウマチ学会総会･学術集会, 2020. 8, Web 開催

4. 〈ワークショップ　W2-4〉Ninja2018 データからみた悪性腫瘍を発症した関節リウマチ患者の臨床像と RA 治療に関する検討

水島 万智子，鈴木 豪，清川 智史，浦田 幸朋，松井 利浩，川畑 仁人

第 64 回日本リウマチ学会総会･学術集会, 2020. 8, Web 開催

5. 〈ワークショップ　W2-6〉NinJa2018 を利用した本邦の RA に対する csDMARD(単剤療法・併用療法) の使用状況と最近の傾向

金子 敦史，松井 利浩，森 尚太郎，浅井 信之，服部 陽介，佐藤 智太郎，片山 雅夫，當間 重人

第 64 回日本リウマチ学会総会･学術集会, 2020. 8, Web 開催

6. 〈ワークショップ　W19-4〉NinJa2017 を用いた維持透析中関節リウマチ症例の疾患活動性と治療内容の検討

梶山 浩，松井 利浩，増田 公男，金子 敦史，片山 雅夫，角田 慎一郎，松井 聖，吉永 泰彦，大坪 秀雄，小山 徹，徳永 健一郎，北 靖彦，末永 康夫，岡本 享，千葉 実行，佐伯 行彦，橋本 淳，宮原 寿明，秋山 雄次，山﨑 秀，平野 史倫，藤尾 圭志，田中 栄，當間 重人，三村 俊英

第 64 回日本リウマチ学会総会･学術集会, 2020. 8, Web 開催

7. 〈ワークショップ　W19-5〉全身型を除く若年性特発性関節炎における JADAS-27 と関節リウマチの各疾患活動性指標の関連性についての検討- CoNinJa を利用した解析-

謝花 幸祐，岡本 奈美，松井 利浩，當間 重人，森 雅亮

第 64 回日本リウマチ学会総会･学術集会, 2020. 8, Web 開催

8. 〈ワークショップ　W20-2〉NinJa2009 から NinJa2018 の 10 年間でみた高齢発症関節リウマチ(EORA) 患者の特徴の推移の検討

吉澤 滋，猪口 翔一朗，松井 利浩，當間 重人

第 64 回日本リウマチ学会総会･学術集会, 2020. 8, Web 開催

9. 〈ワークショップ　W20-5〉NinJa2018 を利用した本邦の関節リウマチ患者の死因分析(第15 報)

金子 敦史，松井 利浩，森 尚太郎，浅井 信之，服部 陽介，佐藤 智太郎，片山 雅夫，當間 重人

第 64 回日本リウマチ学会総会･学術集会, 2020. 8, Web 開催

10. 〈ワークショップ　W45-3〉分子標的抗リウマチ薬の効果と罹患関節の特徴との関係～NinJa データベースを用いた多施設観察研究に基づく解析

西山 進，沢田 哲治，相田 哲史，吉永 泰彦，西野 仁樹，松井 利浩，當間 重人

第 64 回日本リウマチ学会総会･学術集会, 2020. 8, Web 開催

11. 〈ワークショップ　W46-1〉NinJa2018 を利用した本邦の RA に対する各種生物学的製剤の増量・減量の実態調査

金子 敦史，松井 利浩，森 尚太郎，浅井 信之，服部 陽介，佐藤 智太郎，片山 雅夫，當間 重人

第 64 回日本リウマチ学会総会･学術集会, 2020. 8, Web 開催

12. 〈ワークショップ　W56-4〉実臨床における生物学的製剤・低分子化合物の使い分け

高樋 康一郎，松井 利浩，當間 重人

第 64 回日本リウマチ学会総会･学術集会, 2020. 8, Web 開催

13. 〈ワークショップ　W65-3〉全身性エリテマトーデスの活動性マーカーとしての単球 CD64 分子数値

辻 聡一郎，小黒 英里，井畑 淳，和泉 泰衛，岡本 享，片山 雅夫，末永 康夫，末松 栄一，松井 利浩，吉澤 滋，尾崎 吉郎，藤井 隆夫，正木 康史，松井 聖，藤原 弘士，大島 至郎，當間 重人，佐伯 行彦

第 64 回日本リウマチ学会総会･学術集会, 2020. 8, Web 開催

14. 〈ワークショップ　W39-5〉抗 KS 抗体陽性症例の臨床的・免疫学的特徴の検討

佐々木 翔，石井 晶，杉山 麻衣，泉 勇人，中込 陽子，倉林 賢慶，野木 真一，佐々木 則子，細野 祐司，山田 千穂，佐藤 慎二

第 64 回日本リウマチ学会総会･学術集会, 2020. 8, Web 開催

15. 〈P1-062〉関節リウマチ関連間質性肺病変に関連する自己抗体

岡 笑美，古川 宏，島田 浩太，岡本 享，橋本 篤，小宮 明子，税所 幸一郎，吉川 教恵，片山 雅夫，松井 利浩，福井 尚志，右田 清志，當間 重人

第 64 回日本リウマチ学会総会･学術集会, 2020. 8, Web 開催

16. 〈P2-030〉NinJa2018 を用いた各疾患活動性指標間及び生物学的製剤投与例の寛解判定に関するズレの検討

大坪 秀雄，松田 剛正，松井 利浩，當間 重人

第 64 回日本リウマチ学会総会･学術集会, 2020. 8, Web 開催

17. 〈P3-042〉NinJa における費用および効果の分析年次報告 2018 ～費用対効果は改善前年の悪化は一過性～

末永 康夫，田中 孝典，鳥越 雅隆，木村 大作，松井 利浩，當間 重人

第 64 回日本リウマチ学会総会･学術集会, 2020. 8, Web 開催

18. 〈ワークショップ　W15-1〉タンパク分解酵素の活性化に着目した変形性膝関節症における軟骨の変性機序の検討

田中 信帆，津野 宏隆，大橋 暁，岩澤 三康，福井 尚志

第 64 回日本リウマチ学会, 2020. 8, Web 開催

19. 〈P3-118〉NinJa2018 におけるロコモ 25 と患者背景・状態の関連性についての検討

大橋 暁，　岩澤 三康，　内尾 明博，　大野 久美子，　大橋 俊郎，　谷 知久，　松井 利浩，田中 栄，當間 重人，岡 敬之

第 64 回日本リウマチ学会, 2020. 8, Web 開催

20. 〈P2-24〉低疾患活動性を達成した関節リウマチ患者の身体機能低下関連因子の年齢による変化

小宮 陽仁，　杉原 毅彦，　平野 史生，　神谷 麻理，　松本 拓実，　佐々木 広和，　山本 晃央，細矢 匡，岩井 秀之，保田 晋助，森 雅亮，當間 重人，松井 利浩

第 48 回日本臨床免疫学会総会, 2020. 10, Web 開催

21. 〈口演　O77-4〉本邦における関節リウマチ診療の現況と今後の課題

松井 利浩，金子 敦史，當間 重人

第 74 回国立病院総合医学会, 2020. 10, Web 開催

22. 〈P-763〉変形性関節症に罹患した軟骨によって遊離する因子の網羅的解析

津野 宏隆，田中 信帆，大橋 暁，岩澤 三康，福井 尚志

第 74 回国立病院総合医学会, 2020. 10, Web 開催

23. 〈P-761〉関節リウマチ関連間質性肺病変に関連する自己抗体

岡 笑美，古川 宏，島田 浩太，岡本 享，橋本 篤，小宮 明子，税所 幸一郎，吉川 教恵，片山 雅夫，松井 利浩，福井 尚志，右田 清志，當間 重人

第 74 回国立病院総合医学会, 2020. 10, Web 開催

24. 〈P-765〉関節リウマチ診療において好中球表面 CD64 発現増加が結核症診断に有用であった 3 症例

野木 真一，　澤田 崇幸，　矢野 裕介，　児玉 華子，　岩田 香奈子，　津野 宏隆，　荻原 秀樹，小宮 明子，松井 利浩

第 74 回国立病院総合医学会, 2020. 10, Web 開催

25. 〈主題 8〉リウマチ足手術を受ける患者の特徴～全国データベース NinJa を用いた検討～

笠井 太郎，安井 哲郎，當間 重人，松井 利浩

第 45 回日本足の外科学会学術集会, 2020. 11, Web 開催

26. 変形性関節症に罹患した軟骨より荷重によって遊離する因子の網羅的解析

津野 宏隆，田中 信帆，大橋 暁，岩澤 三康，福井 尚志

第 33 回日本軟骨代謝学会, 2021. 3, Web 開催

27. 変形性関節症における軟骨の変性・消失にはプラスミンが関与している可能性がある

田中 信帆，津野 宏隆，大橋 暁，岩澤 三康，田代 俊之，桂川 陽三，福井 尚志

第 33 回日本軟骨代謝学会, 2021. 3, Web 開催

［学術講演・他］

1. 〈基調講演〉JAK 阻害薬の Selectivity による有用性・安全性について

松井 利浩

神奈川リウマチ性疾患 Evidence 検証研究会, 2020. 9, Web 開催

2. 〈講演 1〉RA 治療におけるイグラチモドの役割

松井 利浩

RA Meet The Expert in 神奈川, 2020. 9, Web 開催

3. Malignancy in RA

松井 利浩

第 6 回日本リウマチ性疾患データベース研究会, 2020. 11, Web 開催

4. MTX 休薬により自然退縮した肺扁平上皮癌の経験

鈴木 智博

第 12 回川崎 RA　Biologics　Conference, 2020. 11, Web 開催

5. 〈講演 2〉リウマチ医療の現状とリウマチ患者の実態

松井 利浩，長谷川 三枝子

令和 2 年リウマチ相談員養成研修会, 2020. 12, Web 開催

6. 〈パネルディスカッション（パネリスト）〉～様々なシチュエーションでの薬剤選択について～

松井 利浩，緋田 めぐみ，岳野 光洋，廣瀬 直人，田口 博章，伊藤 彦，清川 智史

Sarilumab And Rheumatology Internet SARI Seminar, 2020. 12, Web 開催

7. 〈基調講演 2〉MTX 休薬により自然退縮した肺扁平上皮癌の経験

栗原 美紗樹

第 28 回相模原リウマチ研究会, 2020. 12, Web 開催

8. 〈特別講演〉NinJa でみる関節リウマチ診療の現状とバリシチニブへの期待

松井 利浩

Lilly RA Web Seminar, 2021. 2, Web 開催

9. 〈ディスカッション（コメンテーター）〉～悪性腫瘍と関節リウマチ～

松井 利浩，岳野 光洋，廣瀬 直人，井畑 淳，田口 博章，伊藤 彦，清川 智史

Sarilumab And Rheumatology Internet SARI Seminar the 2nd, 2021. 3, Web 開催

10. 〈講演 2〉実臨床における JAK 阻害剤の役割を考える　～フィルゴチニブへの期待～

松井 利浩

JAK 阻害剤を考える会 In KANAGAWA, 2021. 3, Web 開催

11. 〈特別講演〉NinJa でみる関節リウマチ診療の現状とバリシチニブへの期待

松井 利浩

Lilly RA Web Seminar in Kanagawa, 2021. 3, Web 開催

2）整形外科

■英文原著・短報

1. Factors affecting bone union after distal shortening oblique osteotomy of the lesser metatarsals

Kasai T, Nakamura T, Iwasawa M, Nagase Y, Juji T, Tanaka S, Matsumoto T

Mod Rheumatol. 2020 May; 30(3): 502-508

2. Human leukocyte antigen in Japanese patients with idiopathic inflammatory myopathy.

Furukawa H, Oka S, Kawasaki A, Hidaka M, Shimada K, Kondo Y, Ihata A, Matsushita T, Matsumoto T, Hashimoto A, Matsumoto I, Komiya A, Kobayashi K, Osada A, Katayama M, Okamoto A, Setoguchi K, Kono H, Hamaguchi Y, Matsui T, Fukui N, Tamura H, Takehara K, Nagaoka S, Sugii S, Sumida T, Tsuchiya N, Tohma S

Mod Rheumatol.. 2020 Jul; 30(4): 696-702

3. Evaluations of daily teriparatide using finite-element analysis over 12 months in rheumatoid arthritis patients

Ono K, Ohashi S, Oka H, Kadono Y, Yasui T, Matsumoto T, Omata Y, Tanaka S

Journal of Bone and Mineral Metabolism. 2020 Sep; :

4. Serum Metabolomic Profiling in Rheumatoid Arthritis Patients With Interstitial Lung Disease: A Case-Control Study

Furukawa H, Oka S, Shimada K, Okamoto A, Hashimoto A, Komiya A, Saisho K, Yoshikawa N, Katayama M, Matsui T, Fukui N, Migita K, Tohma S

Front Med (Lausanne). 2020 Dec; :

5. Time Course of Quality of Life Improvement Between Resection Arthroplasty and Metatarsophalangeal Joint-Preserving Forefoot Arthroplasty for Rheumatoid Arthritis

Shimomura K, Yasui T, Teramoto A, Ozasa Y, Yamashita T, Iwasawa M

Foot & Ankle International. 2021 Feb; 42(2): 166-175

6. The attenuation of insulin-like growth factor signaling may be responsible for relative reduction in matrix synthesis in degenerated areas of osteoarthritic cartilage

Tanaka N, Tsuno H, Ohashi S, Iwasawa M, Furukawa H, Kato T, Fukui N

BMC Musculoskelet Disord. 2021 Feb; 22(1): 231

■英文総説・著書

1. Deep surgical site infection after posterior instrumented fusion for rheumatoid upper cervical subluxation treated with antibiotic-loaded bone cement: Three case reports

Ogihara S, Murase S, Oguchi F, Saita K

Medicine 2020. 6; 99(26): e20892.

■国際発表

［学会_シンポジウム］

1. 〈招待講演〉The Role of Synovium in the Onset and Progression of OA

Fukui N

OARSI 2020

2020 Apr, Web

■国内発表

1. 〈シンポジウム　S10-4〉変形性関節症における滑膜病変

福井 尚志，田中 信帆，津野 宏隆，大橋 暁，岩澤 三康，古川 宏

第 64 回日本リウマチ学会, 2020. 8, Web 開催

2. 変形性関節症の病態に関する最近の理解ー痛みと疾患進行のメカニズムを中心にー

福井 尚志，田中 信帆，津野 宏隆，大橋 暁，岩澤 三康

第 35 回　日本整形外科基礎学術集会, 2020. 10, Web 開催

3. 変形性膝関節症の病態に関する新知見　-痛みはなぜ生じるのか—

福井 尚志

第 54 回日本ペインクリニック学会, 2020. 11, Web 開催

4. Synovial Changes in Early Knee OA

Fukui N，Tanaka N，Ohashi S，Tashiro T，Katsuragawa Y

第 12 回 JOSKAS - 第 46 回 JOSSM, 2020. 12, Web 開催

5. 〈シンポジウム〉工藤式人工肘関節(K-elbow) の歴史と機種デザインから考える人工肘関節のゆるみ

岩澤三康，田平敬彦，大橋 暁

第 33 回日本肘関節学会, 2021. 2, Web 開催

［学会_一般演題］

1. 〈ワークショップ　W15-1〉タンパク分解酵素の活性化に着目した変形性膝関節症における軟骨の変性機序の検討

田中 信帆，津野 宏隆，大橋 暁，岩澤 三康，福井 尚志

第 64 回日本リウマチ学会, 2020. 8, Web 開催

2. 〈P3-243〉関節リウマチの不安定肘に対する人工肘関節全置換術で安定性を得る工夫

内尾 明博，岩澤 三康，大橋 暁

第 64 回日本リウマチ学会, 2020. 8, Web 開催

3. 〈P3-118〉NinJa2018 におけるロコモ 25 と患者背景・状態の関連性についての検討

大橋 暁，　岩澤 三康，　内尾 明博，　大野 久美子，　大橋 俊郎，　谷 知久，　松井 利浩，田中 栄，當間 重人，岡 敬之

第 64 回日本リウマチ学会, 2020. 8, Web 開催

4. 〈ワークショップ　W15-3〉変形性関節症および関節リウマチに罹患した軟骨から荷重によって遊離する因子の網羅的解析

津野 宏隆，田中 信帆，大橋 暁，岩澤 三康，松井 利浩，福井 尚志

第 64 回日本リウマチ学会, 2020. 8, Web 開催

5. 〈P−763〉変形性関節症に罹患した軟骨によって遊離する因子の網羅的解析

津野 宏隆，田中 信帆，大橋 暁，岩澤 三康，福井 尚志

第 74 回国立病院総合医学会, 2020. 10, Web 開催

6. 変形性関節症に置ける軟骨の変性機序の検討

田中 信帆，大橋 暁，田代 俊之，桂川 陽三，福井 尚志,

第 12 回　JOSKAS　−　第 46 回　JOSSM, 2020. 12, 神戸・Web 開催

7. 変形性関節症と関節リウマチ患者に置ける TKA 術前後の患者立脚型評価スコア（KOOS・ロコモ 25）の変化

大橋 暁，田中 信帆，福井 尚志

第 12 回 JOSKAS　−第 46 回 JOSSM, 2020. 12, 神戸・Web 開催

8. 変形性関節症における軟骨の変性・消失にはプラスミンが関与している可能性がある

田中 信帆，津野 宏隆，大橋 暁，岩澤 三康，田代 俊之，桂川 陽三，福井 尚志

第 33 回日本軟骨代謝学会, 2021. 3, Web 開催

9. 変形性関節症に罹患した軟骨より荷重によって遊離する因子の網羅的解析

津野 宏隆，田中 信帆，大橋 暁，岩澤 三康，福井 尚志

第 33 回日本軟骨代謝学会, 2021. 3, Web 開催

基礎免疫研究分野

1）先端技術開発研究分野

■英文原著・短報

1. Suppressive effect of environmental tobacco smoke on murine Th2 cell-mediated nasal eosinophilic inflammation

Nishimura T, Kaminuma O, Saeki M, Kitamura N, Mori A, Hiroi T

Asia Pacific Allergy.. 2020 Apr; 10(2): 18

■和文総説・著書

1. 特集Ⅱ　皮膚アレルギー研究最前線　皮膚アレルギー研究に役立つ新しいマウスモデル

神沼 修, 吉川日出雄, 森 晶夫

臨床免疫・アレルギー科　2020. 5; 73(5): 506-512

2. T 細胞依存的アレルギー性炎症の臓器・サブセット特異的な薬剤応答性

神沼 修, 三浦 健人, 林 啓太朗, 佐伯 真弓, 廣井 隆親, 森 晶夫

アレルギーの臨床　2021. 2; 41(2): 80-83

■国際発表

［学会_シンポジウム］

1. 〈MS16-4〉 An inhibitory factor for mast cell degranulation induced by sublingual immunotherapy

Kaminuma O, Gotoh M, Kitamura N, Shindo M, Watanabe N, Saeki M, Nishimura T, Mori M, Nemoto S, Tatsumi H, Okubo K, Hiroi T

JSA/ WAO Joint Congress 2020
2020 Sep, Web 開催

2. 〈PE9-4〉 The contribution of L-type amino acid transporter 1 in activated Th2 cells for the development of atopic dermatitis

Kaminuma O, Hayashi K, Nishimura T, Saeki M, Hiroi T, Iwata Y, Sugiura K, Mori A

JSA/ WAO Joint Congress 2020
2020 Sep, Web 開催

［学会_一般演題］

1. Pharmacological analysis of helper T cell-dependent, steroid-resistant asthma.

Mori A, Kouyama S, Yamaguchi M, Kumitani C, Ohtomo-Abe A, Fujita N, Nagayama K, Iwata M, Ryu K, Nakamura Y, Hamada Y, Hayashi H, Watai K, Kamide Y, Sekiya K, Fukutomi Y, Taniguchi M, Ohtomo T, Kaminuma O

European Academy of Allergy and Clinical Immunology 2020
2020 Jun, Web 開催

2. Pharmacological analysis of T cell-dependent, steroid-resistant asthma.

Mori A, Kouyama S, Yamaguchi M, Kumitani C, Ohtomo-Abe A, Yano K, Fujita N, Iwata M, Nagayama K, Ryu K, Nakamura Y, Hamada Y, Hayashi H, Watai K, Kamide Y, Sekiya K, Fukutomi Y, Taniguchi M, Ohtomo T, Kaminuma O

European Respiratory Society International Congress 2020
2020 Sep, Web 開催

■国内発表

［学会_シンポジウム］

1. 〈2-05〉専門医試験に必要な基礎アレルギー学

森 晶夫

第 14 回相模原臨床アレルギーセミナー, 2020. 8, Web 開催

［学会_一般演題］

3. 〈PJ3-1〉アレルゲン特異的 lgE 測定量 3 次元マイクロアレイの開発 1：微量検体・高相関・多項目測定システムの構築

古志 洋一郎，若山 翔，中川 舞，川上 和美，伊藤 正照，信正 均，森 晶夫

JSA/ WAO Joint Congress 2020　第 69 回日本アレルギー学会学術大会, 2020. 9, Web 開催

1. 〈PJ3-2〉アレルゲン特異的 lgE 測定用 3 次元マイクロアレイの開発 2：食物アレルゲン特異的 lgE 抗体価の測定

若山 翔，中川 舞，川上 和美，古志 洋一郎，伊藤 正照，信正 均，森 晶夫

JSA/ WAO Joint Congress 2020　第 69 回日本アレルギー学会学術大会, 2020. 9, Web 開催

2. 〈PJ3-3〉アレルゲン特異的 lgE 測定量 3 次元マイクロアレイの開発 3：吸入アレルゲン特異的 lgE 抗体価の測定

川上 和美，中川 舞，若山 翔，古志 洋一郎，伊藤 正照，信正 均，森 晶夫

JSA/ WAO Joint Congress 2020　第 69 回日本アレルギー学会学術大会, 2020. 9, Web 開催

2）臨床免疫学研究分野

■英文原著・短報

1. Cross-Reactivity of Palladium in a Murine Model of Metal-induced Allergic Contact Dermatitis

Shigematsu H, Kumagai K, Suzuki M, Eguchi T, Matsubara R, Nakasone Y, Nasu K, Yoshizawa T, Ichikawa H, Mori T, Hamada Y, Suzuki R

International Journal of Molecular l Science. 2020 Jun; 21(11): 4061-

2. Circulation of gut-preactivated naïve CD8 + T cells enhances antitumor immunity in B cell-defective mice

Akrami M, Menzies R, Chamoto K, Miyajima M, Suzuki R, Sato H, Nishii A, Tomura M, Fagarasan S, Honjo T

Proceedings of the National Academy of Sciences or theUnited States of America. 2020 Sep; 117(38): 23674-23683

3. Clonal Expansion of Tumor-Infiltrating T Cells and Analysis of the Tumor Microenvironment within Esophageal Squamous Cell Carcinoma Relapsed after Definitive Chemoradiation Therapy

Mori T, Kumagai K, Nasu K, Yoshizawa T, Kuwano K, Hamada Y, Kanazawa H, Suzuki R

Int J Mol Sci. 2021 Jan; 22(3): 1098

その他の臨床研究分野

1）上気道アレルギー・花粉症研究分野

■和文原著

1. 外頸動脈の走行異常を伴った耳下腺多形腺腫の 1 手術症例

宮島 玲子，松木 崇，清野 由輩，石井 豊太，山下 拓

頭頸部外科　2020. 10; 30-2: 223-227

2）神経難病研究分野

■英文原著・短報

1. Music and Dopamine – Potential in Movement Disorders

Kawahara I，Kase R，Hasegawa K

JOURNAL OF BRAIN AND NERVES. 2020 Apr; 2(1): 1-4

2. Ropinirole Patch Versus Placebo, Ropinirole Extended-Release Tablet in Advanced Parkinson's Disease

Hattori N，Mochizuki H，Hasegawa K，Nomoto M，Uchida E，Terahara T，Okawa K，Fukuta H

Movement Disorder. 2020 May; 35(9): 1565-1573

3. Efficacy and safety of safinamide as an add-on therapy to L-DOPA for patients with Parkinson's disease: A randomized, double-blind, placebo-controlled, phase II/III study

Hattori N，Tsuboi Y，Yamamoto A，Sasagawa Y，Nomoto M，ME- Study Group(Abe T，Akimoto S，Arai D，Atsumi T，Chiba S，Eguchi H，Fujimoto K，Fujimura H，Fukada K，Go Y，Hasegawa K，Hasegawa T，Hashimoto T，Hattori T，Higashi Y，Himuro K，Hironishi M，Ikebe S，Inukai A，Ito H，Itoh K，Ito K，Izuta M，Kashihara K，Kawada J，Kawamura K，Kawashima N，Kimura T，Kitamura T，Kobayashi R，Koike R，Konaka K，at all)

Parkinsonism & Related Disorders. 2020 Jun; 75: 17-23

4. Effect of zonisamide on parkinsonism in patients with dementia with Lewy bodies: A phase 3 randomized clinical trial.

Murata M，Odawara T，Hasegawa K，Kajiwara R，Takeuchi H，Tagawa M，Kosaka K

Parkinsonism and Related Disorders. 2020 Jul; 76: 91-97

5. Nonsteroidal Anti-inflammatory Use and LRRK2 Parkinson's Disease Penetrance

San Luciano M，Tanner CM，Meng C，Marras C，Goldman SM，Lang AE，Tolosa E，Schüle B，Langston JW，Brice A，Corvol JC，Goldwurm S，Klein C，Brockman S，Berg D，Brockmann K，Ferreira JJ，Tazir M，Mellick GD，Sue CM，Hasegawa K，Tan EK，Bressman S，Saunders-Pullman R; Michael J. Fox Foundation LRRK Cohort Consortium

Movement Disorders. 2020 Jul; 35(10): 1755-1764.

6. **Structures of α-synuclein filaments from multiple system atrophy**

Schweighauser M, Shi Y, Tarutani A, Kametani F, G Murzin A, Ghetti B, Matsubara T, Tomita T, Ando T, Hasegawa K, Murayama S, Yoshida M, Hasegawa M, H W Scheres S, Goedert M

Nature. 2020 Sep; 585(7825): 464-469

7. **A multi-ethnic meta-analysis identifies novel genes, including ACSL5, associated with amyotrophic lateral sclerosis**

Nakamura R, Misawa K, Tohnai G, Nakatochi M, Furuhashi S, Atsuta N, Hayashi N, Yokoi D, Watanabe H, Watanabe H, Katsuno M, Izumi Y, Kanai K, Hattori N, Morita M, Taniguchi A, Kano O, Oda M, Shibuya K, Kuwabara S, Suzuki N, Aoki M, Ohta Y, Yamashita T, Abe K, Hashimoto R, Aiba I, Okamoto K, Mizoguchi K, Hasegawa K, Okada Y, Ishihara T, Onodera O, Nakashima K, Kaji R, Kamatani Y, Ikegawa S, Momozawa Y, Kubo M, Ishida N, Minegishi N, Nagasaki M, Sobue G

communications biology. 2020 Sep; 3(1): 526

8. **Reduced astrocytic reactivity in human brains and midbrain organoids with PRKN mutations**

Kano M, Takanashi M, Oyama G, Yoritaka A, Hatano T, Shiba-Fukushima K, Nagai M, Nishiyama K, Hasegawa K, Inoshita T, Ishikawa KI, Akamatsu W, Imai Y, Bolognin S, Schwamborn JC, Hattori N

NPJ Parkinsons Disease. 2020 Nov; 6(1): 33

9. **Efficacy and Safety of Zonisamide in Dementia with Lewy Bodies Patients with Parkinsonism: A Post Hoc Analysis of Two Randomized, Double-Blind, Placebo-Controlled Trials**

Hasegawa K, Kochi K, Maruyama H, Konishi O, Toya S, Odawara T

Journal of Alzheimer's Disease. 2021 Jan; 79(2): 627-637

10. **Long-term study of ropinirole patch in Parkinson's disease patients with/without basal l-dopa**

Mochizuki H, Hattori N, Hasegawa K, Nomoto M, Uchida E, Terahara T, Okawa K, Fukuta H

Parkinsonism & Related Disorders. 2021 Feb; 83: 105-109

■英文総説・著書

1. **Cognitive and behavioral status in Japanese ALS patients: a multicenter study**

Watanabe Y, Raaphorst J, Izumi Y, Yoshino H, Ito S, Adachi T, Takigawa H, Masuda M, Atsuta N, Adachi Y, Isose S, Arai K, Yokota O, Oda M, Ogino M, Ichikawa H, Hasegawa K, Kimura H, Shimizu T, Aiba I, Yabe H, Kanba M, Kusumi K, Aoki T, Hiroe Y, Watanabe H, Nishiyama K, Nomoto M, Sobue G, Beeldman E, Hanajima R, Nakashima K, ALS-FTD-Q-J research group

Journal of Neurology 2020. 5; 267(5): 1321-1330

■和文総説・著書

1. **パーキンソン病と類縁疾患**

長谷川 一子

高次脳機能障害のリハビリテーション ver3　2020. 4; Ver. 3: 138-150

2. Huntington 病の診断，治療，療養の手引き（GL）
長谷川 一子（作成委員長)
神経治療学　2020. 7; 37(1): 61-104

3. NBIA1～6, FAHN
長谷川一子
Clinical Neuroscience　2020. 9; 38(9): 1147-1155

4. ハンチントン病
長谷川 一子
生体の科学　2020. 10; 71(5): 390-391

5. 進行性核上性麻痺（PSP) 診療ガイドライン 2020
長谷川 一子（協力 委員)
神経治療学　2021. 2; 37(3): 435-493

6. Huntington 病
長谷川 一子
脳神経疾患最新の治療 2021-2023　2021. 2; : 186-187

■国内発表

[学会_シンポジウム]

1. 〈シンポジウム　S-13-1〉ジストニア update オーバービュー
長谷川一子
第 61 回日本神経学会学術大会シンポジウム, 2020. 8, 岡山市

[学会_一般演題]

1. 〈1-P2K-7-4〉びまん性食道痙攣を呈したパーキンソン病症例に対する ST 介入
池山 順子，田村 昌也，池中 達央，増田 公男，長谷川 一子，他
第 57 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2020. 8, 京都市

2. 〈一般演題〉びまん性食道痙攣を呈したパーキンソン病症例・第二報～手術介入による変化～
池山 順子，田村 昌也，徳田 翔，公文 彩，池中 達央，増田 公男，長谷川 一子
第 19 回釧路ニューロサイエンスワークショップ, 2020. 8, 釧路市

3. 〈一般演題〉上部両側延髄内部に脳梗塞を発症した三症例について
徳田 翔，宮城 雄一，宮下 真信，富樫 尚彦，川浪 文，長谷川 一子，諏訪 知也
第 19 回釧路ニューロサイエンスワークショップ, 2020. 8, 釧路市

4. 〈一般演題〉34 歳男性の上方注視麻痺をきたした視床中脳梗塞の一例
宮城 雄一，徳 田 翔，宮下 真信，富樫 尚彦，川浪 文，長谷川 一子
第 19 回釧路ニューロサイエンスワークショップ, 2020. 8, 釧路市

5. 〈一般口演　O-28-1〉一次運動野への Quadripulse stimulation(QSP) による可塑性誘導

冨樫 尚彦，代田 悠一郎，濱田 雅，長谷川 一子

第 61 回日本神経学会学術大会シンポジウム, 2020. 8, 岡山市

6. 〈一般口演　O-28-6〉パーキンソン病における認知障害の基盤としての睡眠障害に関する検討

宮下 真信，公文 彩，佐川 美土里，川上 正裕，長谷川 一子

第 61 回日本神経学会学術大会シンポジウム, 2020. 8, 岡山市

7. 〈一般口演　O27-10〉大脳皮質基底核症候群を呈した大脳皮質基底核変性症および進行性核上性麻痺の臨床像

饗場 郁子，吉田 眞理，下畑 亨良，林 祐一，佐野 輝典，齋藤 祐子，村山 繁雄，長谷川 一子岩﨑 靖，酒井 素子，若林 孝一，小森 隆司，中島 健二

第 61 回日本神経学会学術大会シンポジウム, 2020. 8, 岡山市

8. 〈ポスターセッション　Pj-14-7〉消去現象の機序について

武田 克彦，小野内 健司，長谷川 一子

第 61 回日本神経学会学術大会シンポジウム, 2020. 8, 岡山市

9. 〈ポスターセッション　Pe-13-4〉STUDY OF EXERCISE AND PHYSICAL ACTIVITY TO DELAY PROGRESSION IN PARKINSON'S DISEASE:STUDY DESIGN

川嶋 乃里子，長谷川 一子，公文 彩，宮下 公美子，佐藤 敦子

第 61 回日本神経学会学術大会シンポジウム, 2020. 8, 岡山市

10. 〈ポスターセッション　MSP-02-3〉パーキンソン病患者における言語流暢性課題と知的能力及び教育年数の関連性

佐川 美土里，公文 彩，猿渡 めぐみ，長谷川 一子

第 61 回日本神経学会学術大会シンポジウム, 2020. 8, 岡山市

11. 〈ポスターセッション　Pj-38-7〉パーキンソン病の運動症状および非運動症状と QOL との関連-罹病期間による検討-

猿渡 めぐみ，佐川 美土里，公文 彩，長谷川 一子

第 61 回日本神経学会学術大会シンポジウム, 2020. 8, 岡山市

12. 〈ポスターセッション　Pj-37-6〉パーキンソン病患者のステイグマ体験と運動症状

公文 彩，佐川 美土里，猿渡 めぐみ，川嶋 乃理子，長谷川 一子

第 61 回日本神経学会学術大会シンポジウム, 2020. 8, 岡山市

13. 〈ポスターセッション　Pj-36-6〉当院における神経疾患の嚥下評価結果について①-パーキンソン病を中心に-

池山 順子，田村 昌也，池中 達央，増田 公男，長谷川 一子

第 61 回日本神経学会学術大会シンポジウム, 2020. 8, 岡山市

14. 〈ポスターセッション　PJ-20-6〉前頭側頭型認知症（FTD）の病理学的検討

川浪 文，堀内 恵美子，冨樫 尚彦，宮下 真信，徳田 翔，公文 彩，佐川 美土里，柳下 三郎，長谷川 一子

第 61 回日本神経学会学術大会シンポジウム, 2020. 8, 岡山市

15. 〈ポスターセッション　Pe-09-5〉Neuropathological examination of Creutzfeldt-Jacob disease with Met/ Val heterozygosity at codon129

内野 彰子, 徳田 翔, 長谷川 一子, 柳下 三郎, 荒木 邦彦, 伊澤 奈々, 松原 知康, 村山 繁雄

第 61 回日本神経学会学術大会シンポジウム, 2020. 8, 岡山市

16. 〈ポスターセッション　MSP-12-8〉パーキンソン病（PD）に対するロボットスーツ HAL による歩行訓練の介入効果

境野 敦, 堀坂 渓, 池山 順子, 萩原 和美, 砂原 直子, 池中 達央, 増田 公男, 長谷川 一子

第 61 回日本神経学会学術大会シンポジウム, 2020. 8, 岡山市

17. 〈ポスターセッション　Pj-45-5〉中枢神経系（脳，脊椎）に発症した悪性リンパ腫の臨床・検査・病理所見に関する検討

堀内 恵美子, 宮下 真信, 徳田 翔, 冨樫 尚彦, 川浪 文, 三島 大徳, 諏訪 知也, 齋藤 生朗, 柳下 三郎, 秀 拓一郎, 長谷川 一子

第 61 回日本神経学会学術大会シンポジウム, 2020. 8, 岡山市

18. 〈A-16〉左同名半盲と左顔面・左上下肢の感覚低下で発症した静脈性血管腫の一例

富樫 尚彦, 宮城 雄一, 徳田 翔, 宮下 真信, 川浪 文, 三井 公彦, 長谷川 一子

第 236 回日本神経学会関東･甲信越地方会, 2021. 3, Web 開催

［学術講演・他］

1. 〈特別講演〉パーキンソン病最新の知見

長谷川 一子

高知県 Neurology Forum, 2020. 11, 高知市

2. 〈基調講演〉「LCIG　長期使用における有効性・安全性・デバイスの検討」

長谷川 一子

第 6 回 LCIG 研究会, 2020. 11, Web 開催

3. 〈特別講演〉パーキンソン病の薬物治療

長谷川 一子

11 月薬学合同研修会, 2020. 11, 相模原市

3）皮膚疾患・皮膚アレルギー研究分野

■和文原著

1. 背部孤立性線維性腫瘍の 1 例

岡 謙太, 橋本 優希, 三宅 温, 三井 彩, 堀田 綾子, 齋藤 生朗, 大松 華子

皮膚臨床　2020. 10; 62(11) : 1595-1598

2. 下肢に水疱を診たら

大松 華子

むかしの頭で診ていませんか？皮膚診療をスッキリまとめました　2020. 11; : 21-26

3. 表在性皮膚脂肪腫性母斑の 2 例

岡 謙太，大森 一星，橋本 優希，三宅 温，三井 彩，堀田 綾子，齋藤 生朗，大松 華子

皮膚臨床　2021. 3; 63(3) : 369−372

4. 腎細胞癌の陰茎への皮膚転移

橋本 優希，三井 彩，三宅 温，岡 謙太，堀田 綾子，齋藤 生朗，大松 華子

皮膚臨床　2021. 3; 63(3) : 383−386

5. リンパ腫様丘疹症の 1 例

岡 謙太，橋本 優希，三宅 温，三井 彩，堀田 綾子，齋藤 生朗，宮垣 朝光，大松 華子

皮膚臨床　2021. 3; 63(3) : 393−397

■和文総説・著書

1. よく見る皮膚疾患を発疹レベルで理解する　良性腫瘍　稗粒腫

大松 華子

Medicina　2020. 10; 57 巻 11 号: 1944−1945

■国内発表

[学会_シンポジウム]

1. 〈ライププログラム　2−E01〉蕁麻疹の診断と治療

大松 華子

第 14 回相模原臨床アレルギーセミナー, 2020. 8, Web 開催

[学会_一般演題]

1. 〈P17−9〉限局性強皮症と発疹性毳毛嚢腫を合併した 1 例

三井 彩，大松 華子，岡 謙太，橋本 優希，三宅 温

第 119 回日本皮膚科学会総会, 2020. 6, 京都市

2. 〈P27−10〉臀部表皮嚢腫から生じた有棘細胞癌の 1 例

橋本 優希，三井 彩，岡 謙太，三宅 温，堀田 綾子，齋藤 生朗，秋本 峰克，大松 華子

第 119 回日本皮膚科学会総会, 2020. 6, 京都市

3. 〈一般演題〉常色局面を呈した無色素性基底細胞癌の 1 例

大森 一星，岡 謙太，橋本 優希，三井 彩，堀田 綾子，齋藤 生朗，大松 華子

日本皮膚科学会第 891 回東京地方会, 2020. 9, Web 開催

4. 〈一般演題〉右手に生じた緊満性水疱性丹毒の 1 例

大森 一星，岡 謙太，川邉 瑠璃子，橋本 優希，三井 彩，大松 華子

日本皮膚科学会第 892 回東京地方会, 2020. 10, Web 開催

5. 〈一般演題〉CD3 陽性 CD30 陽性細胞の浸潤が見られたメトトレキサート関連リンパ増殖性疾患の 1 例

大森 一星，岡 謙太，橋本 優希，三井 彩，児玉 華子，野木 真一，津野 宏隆，堀田 綾子，齋藤 生朗，大松 華子

第 84 回日本皮膚科学会東京支部学術大会, 2020. 11, Web 開催

6. 〈一般演題〉右側胸部に生じた限局性多発性神経線維腫の 1 例

大森 一星，川邉 瑠璃子，橋本 優希，三井 彩，大松 華子

日本皮膚科学会第 893 回東京地方会, 2020. 12, Web 開催

7. 〈一般演題〉口腔内に限局した粘膜類天疱瘡の 1 例

大森 一星，川邉 瑠璃子，橋本 優希，三井 彩，大松 華子

日本皮膚科学会第 893 回東京地方会, 2020. 12, Web 開催

8. 〈一般演題〉Laugier-Hunziker-Baran 症候群（Laugier-Hunziker-Baran syndrome:LHBS）の 1 例

川邉 瑠璃子，大森 一星，橋本 優希，三井 彩，大松 華子

日本皮膚科学会第 893 回東京地方会, 2020. 12, Web 開催

9. 浮腫性硬化症の 1 例

川邉 瑠璃子，大森 一星，橋本 優希，三井 彩，堀田 綾子，齋藤 生朗，大松 華子

日本皮膚科学会第 895 回東京地方会, 2021. 2, Web 開催

独立行政法人国立病院機構
相模原病院

Ⅲ．【相模原病院診療部令和２年度業績報告】

外科・消化器外科・乳腺外科

■英文原著・短報

1. Cross-Reactivity of Palladium in a Murine Model of Metal-induced Allergic Contact Dermatitis

Shigematsu H, Kumagai K, Suzuki M, Eguchi T, Matsubara R, Nakasone Y, Nasu K, Yoshizawa T, Ichikawa H, Mori T, Hamada Y, Suzuki R

International Journal of Molecular l Science. 2020 Jun; 21(11): 4061-

2. Clonal Expansion of Tumor-Infiltrating T Cells and Analysis of the Tumor Microenvironment within Esophageal Squamous Cell Carcinoma Relapsed after Definitive Chemoradiation Therapy

Mori T, Kumagai K, Nasu K, Yoshizawa T, Kuwano K, Hamada Y, Kanazawa H, Suzuki R

International Journal of Moleclar Sciences. 2021 Jan; 22(3): 1098

■国内発表

[学会_シンポジウム]

1. 〈口演 71〉腹腔内 Ancient Schwannoma の一例

池村 京之介, 旗手 和彦, 上松 由昌, 桑野 紘治, 大越 悠史, 横田 和子, 山﨑 宏継, 飯塚 美香, 坂本 友見子, 森谷 宏光, 井上 準人, 金澤 秀紀, 金田 悟郎, 堀田 綾子, 齋藤 生朗

第 74 回国立病院総合医学会, 2020. 10, Web 開催

[学会_一般演題]

1. 〈食道③〉重篤な合併症を発症した難治性逆流性食道炎の 1 例

大越 悠史, 森谷 宏光, 池村 京之介, 桑野 紘治, 横田 和子, 旗手 和彦, 金澤 秀紀, 森 隆弘、田邉 聡, 金田 悟郎

第 110 回 日本消化器内視鏡学会関東支部例会, 2020. 5, Web 開催

2. 〈一般演題〉コロナ時代を生き抜く～外科医に求められる感染対策とは～

池村 京之介, 森谷 宏光, 上松 由昌, 桑野 紘治, 大越 悠史, 横田 和子, 山﨑 宏継, 飯塚 美香, 坂本 友見子, 旗手 和彦, 井上 準人, 金澤 秀紀, 金田 悟郎

第 9 回 周術期管理研究会【WEB 開催】, 2020. 10, WEB 開催

3. 〈ポスター P-16-111〉男性非浸潤性嚢胞内乳癌の 1 例

飯塚 美香, 井上 準人, 菊池真理子, 小坂 愉賢, 仙石 紀彦

第 28 回 日本乳癌学会学術総会, 2020. 10, WEB 開催

4. 〈支部推薦演題 1 BR-6〉当院での TAPP 術後合併症の経験

坂本 友見子, 池村 京之介, 丸山 来輝, 大友 直樹, 桑野 紘治, 大越 悠史, 横田 和子, 森谷 宏光, 旗手 和彦, 金澤 秀紀, 金田 悟郎

第 18 回 日本ヘルニア学会学術集会, 2020. 11, Web 開催

5. 〈事例検討・取り組み〉『良質な医師を育てる研修』の教育と課題

金田 悟郎, 磯部 陽, 関戸 仁, 湯沢 賢治, 圷 尚武, 金澤 秀紀, 旗手 和彦, 浦上 秀次郎, 大石 宗, 川口 義樹, 増田 典弘, 川中 博文, 山本 海介, 松本 純夫

日本外科教育研究会主催 7th Web-SES 2021, 2021. 2, Web 開催

6. 〈胃：手術手技 2〉The teqnical concept of reduced port laparoscopic gastrectomy

Moriya H, Mori T, Ikemura K, Ootomo N, Kuwano K, Okoshi Y, Yokota K, Hosoya S, Iizuka M, Sakamoto Y, Hatate K, Kanazawa H, Kaneda G, Hiki N

第 33 回 日本内視鏡外科学会総会, 2021. 3, 横浜市

7. 〈小腸：腸閉塞症〉Usefulness of Laparoscopic Surgery for Strangulated Intestinal Obstruction

Hatate K, Kanazawa H, Ikemura K, Kuwano K, Okoshi Y, Yokota K, Sakamoto Y, Moriya H, Kaneda G

第 33 回 日本内視鏡外科学会総会, 2021. 3, 横浜市

［学術講演・他］

1. 〈講演〉神奈川県消化器領域における COVID-19 の対応

森谷 宏光

神奈川県消化器病医学会 特別企画 Web 講演会（第 1 報）, 2020. 11, WEB 開催

呼吸器外科

■国内発表

［学会_シンポジウム］

1. 〈O62-3〉経過中に心嚢水貯留をきたした心嚢内気管支原性腫瘍の一例

二階堂 靖訓

第 74 回国立病院総合医学会, 2020. 10, Web 開催

脳神経外科

■英文原著・短報

1. **O2-081 The major component of potentials recorded in bipolar lead is acceleration curve**
   Mishima D, Mii K, Suwa T, Hasegawa K, Itou S, Itou O, Saitou E
   Clinical Neurophysiology. 2020 Oct; 131-10: e264

2. **Election microscopic study of the median structure of the posterior column of the spinal cord of the adult rat with a special reference to the posterior median septum**
   Mii K, Yagishita S, Kumabe T
   Anatomical Record (Hoboken, N.j. : 2007). 2021 Mar; 304(3): 625–630

■国内発表

［学術講演・他］

1. **〈MT7-6〉脊髄後正中進入法の解剖学的検討；ラット後正中中隔の超微細構造から**
   三井 公彦
   第 27 回　日本脊椎･脊髄神経　手術手技学会学術集会, 2020. 10, Web 開催

形成外科

［学会_一般演題］

1. 腋臭症術後の頭皮代償性発汗に対してボトックス治療を行った 1 例

宇賀神 叶美，秋本 峰克

第 23 回北里形成外科フォーラム, 2020. 10, Web 開催

循環器内科

■英文原著・短報

1. **Distinct Characteristics of VEGF-D and VEGF-C to Predict Mortality in Patients With Suspected or Known Coronary Artery Disease**

   Wada H, Suzuki M, Matsuda M, Ajiro Y, Shinozaki T, Sakagami S, Yonezawa K, Shimizu M, Funada J, Takenaka T, Morita Y, Nakamura T, Fujimoto K, Matsubara H, Kato T, Unoki T, Takagi D, Wada K, Wada M, Iguchi M, Masunaga N, Ishii M, Yamakage H, Kusakabe T, Yasoda A, Shimatu A, Kotani K, Satoh-Asahara N, Abe M, Akao M, Hasegawa K

   JAHA Journal of the American Heart Association. 2020 May; 9(9): e015761

2. **Prognostic role of bronchial asthma in patients with heart failure**

   Nakayama M, Konishi M, Akiyama E, Morita Y, Fukutomi Y, Nakayama N, Takamura T, Tamura K, Kimura K

   Heart Vessels. 2020 Jun; 35(6): 808-816

3. **Impact of Smoking Status on Growth Differentiation Factor 15 and Mortality in Patients With Suspected or Known Coronary Artery Disease: The ANOX Study**

   Wada H, Suzuki M, Matsuda M, Ajiro Y, Shinozaki T, Sakagami S, Yonezawa K, Shimizu M, Funada J, Takenaka T, Morita Y, Nakamura T, Fujimoto K, Matsubara H, Kato T, Unoki T, Takagi D, Wada K, Wada M, Iguchi M, Masunaga N, Ishii M, Yamakage H, Kusakabe T, Yasoda A, Shimatsu A, Kotani K, Satoh-Asahara N, Abe M, Akao M, Hasegawa K

   Journal of the American Heart Association. 2020 Nov; 9(22): e018217

■国際発表

［学会_一般演題］

1. **What kind of angioscopy images can we find three years after the retrograde wiring in the extra-vascular space in CTO lesion?**

   Morita Y, Takamura T, Takahashi H, Shimada M, Noda H, Sogame K, Kojima H, Hibi K, Ochiai M, Kimura K

   EuroPCR2020　第 31 回欧州経皮的心血管インターベンション
   2020 May, Paris, France

2. **Impact of smoking status on the relationships of growth differentiation factor15 with mortality and cardiovascularevents in patients with suspected or known coronary arterydisease**

   Wada H, Suzuki M, Matsuda M, Ajiro Y, Shinozaki T, Sakagami S, Yonezawa K, Shimizu M, Funada J, Takenaka T, Morita Y, Wada K, Abe M, Akao M, Hasegwa K

   ESC Congress 2020-The Digital Experiencs
   2020 Aug, Web 開催

3. **Impact of Chronic Kidney Disease on the Association of Cardiovascular and Renal Biomarkers With the Presence and Severity of Coronary Artery Disease in Patients With Suspected Coronary Artery Disease**

Wada H, Shinozaki T, Suzuki M, Sakagami S, Agiro Y, Funada J, Matsuda M, Shimizu M, Takenaka T, Morita Y, Yonezawa K, Matsubara H, Ono Y, Nakamura T, Fujimoto K, Yoshida K, Kato T, Unoki T, Takagi D, Iguchi M, Kotani K, Abe M, Akao M, Hasegawa K

American Heart Association Scientific Sessions 2020
2020 Nov, Web 開催

4. **Impact of Smoking on Vascular Endothelial Growth Factor D and Mortality in Patients With Suspected or Known Coronary Artery Disease**

Wada H, Suzuki M, Matsuda M, Ajiro Y, Shinozaki T, Sakagami S, Yonezawa K, Shimizu M, Funada J, Takenaka T, Morita Y, Nakamura T, Fujimoto K, Matsubara H, Kato T, Unoki T, Takagi D, Wada K, Wada M, Iguchi M, Masunaga N, Ishii M, Kotani K, Abe M, Akao M, Hasegawa K

American Heart Association Scientific Sessions 2020
2020 Nov, Web 開催

5. **Impactof Sex on the Prognostic Value of Galectin−3 in Patients With Suspected or Known Coronary Artry Disease**

Wada H, Kotani K, Suzuki M, Matsuda M, Ajiro Y, Shinozaki T, Sakagami S, Yonezawa K, Shimizu M, Funada J, Takenaka T, Morita Y, Nakamura T, Fujimoto K, Matsubara H, Kato T, Unoki T, Takagi D, Wada K, Wada M, Iguchi M, Masunaga N, Ishii M, Abe M, Akao M, Hasegawa K

American Heart Association Scientific Sessions 2020
2020 Nov, Web 開催

6. **Impact of Diabetes on Growth Differentiation Factor 15 and Mortality in Patients With Stable Coronary Artery Disease**

Wada H, Unoki T, Suzuki M, Matsuda M, Ajiro Y, Shinozaki T, Sakagami S, Yonezawa K, Shimizu M, Funada J, Takenaka T, Morita Y, Nakamura T, Fujimoto K, Matsubara H, Kato T, Takagi D, Wada K, Wada M, Iguchi M, Masunaga N, Ishii M, Kotani K, Abe M, Akao M, Hasegawa K

American Heart Association Scientific Sessions 2020
2020 Nov, Web 開催

7. **Impact of Anemia on Growth Differentiation Factor 15 And Mortakity in Patients With Stable Coronary Artery Disease**

Iguchi M, Suzuki M, Matsuda M, Ajiro Y, Shinozaki T, Sakagami S, Yonezawa K, Shimizu M, Funada J, Takenaka T, Morita Y, Nakamura T, Fujimoto K, Matsubara H, Kato T, Unoki T, Takagi D, Wada K, Wada M, Masunaga N, Ishii M, Kotani K, Abe M, Akao M, Hasegawa K, Wada H

American Heart Association Scientific Sessions 2020
2020 Nov, Web 開催

■国内発表

［学会_シンポジウム］

1. **VEGF-C as an Inverse Predictor of Total Mortal-ity in Patients with Diabetes and Stable Coronary Heart Disease**

   Wada H, Suzuki M, Matsuda M, Ajiro Y, Shinozaki T, Sakagami S, Yonezawa K, Shimizu M, Funada J, Takenaka T, Morita Y, Nakamura T, Fujimoto K, Matsubara H, Kato T, Unoki T, Takagi Masunaga N, Ishii M, Wada M, Wada K, Kotani K, Abe M, Akao M, Hasegawa K

   第 84 回日本循環器学会学術集会, 2020. 7, Web 開催

2. **〈セッションⅦ　IX-59〉高ホモシステイン血症と高リポ蛋白(a)血症が関与したと考えられる急性動脈閉塞の一例**

   野田 光里, 森田 有紀子, 小嶋 寛之, 大竹 諒, 髙橋 広軌, 山本 明日香, 福岡 雅浩, 平田 光博, 日比 潔, 木村 一雄, 田村 功一

   第 259 回　日本循環器学会関東甲信越地方会, 2021. 2, Web 開催

［学会_一般演題］

1. **当院における心不全患者の心臓リハビリテーションの実施状況**

   山本 明日香, 牛島 明子, 濱知 明, 小林 義典

   第 26 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会, 2020. 7, Web 開催

2. **GDF-15 as a Predictor of Total Mortality in Prediabetic Patients with Suspected or Known Coronary Artery Disease**

   Wada H, Suzuki M, Matsuda M, Ajiro Y, Shinozaki T, Sakagami S, Yonezawa K, Shimizu M, Funada J, Takenaka T, Morita Y, Nakamura T, Fujimoto K, Matsubara H, Kato T, Unoki T, Takagi D, Masunaga N, Ishii M, Wada M, Wada K, Kotani K, Abe M, Akao M, Hasegawa K

   第 84 回日本循環器学会学術集会, 2020. 7, Web 開催

3. **Prognostic Value of VEGF-D in Patients with Heart Failure and Suspected or Known Coronary Artery Disease**

   Iguchi M, Suzuki M, Matsuda M, Ajiro Y, Shinozaki T, Sakagami S, Yonezawa K, Shimizu M, Funada J, Takenaka T, Morita Y, Nakamura T, Fujimoto K, Matsubara H, Kato T, Unoki T, Takagi D, Masunaga N, Ishii M, Wada M, Wada K, Abe M, Akao M, Hasegawa K, Wada H

   第 84 回日本循環器学会学術集会, 2020. 7, Web 開催

4. **GDF-15 and Mortality in Patients with Chronic Kidney Disease and Suspected or Known Coro-nary Heart Disease**

   Takagi D, Suzuki M, Matsuda M, Ajiro Y, Shinozaki T, Sakagami S, Yonezawa K, Shimizu M, Funada J, Takenaka T, Morita Y, Nakamura T, Fujimoto K, Matsubara H, Kato T, Unoki T, Masunaga N, Ishii M, Wada M, Wada K, Iguchi M, Abe M, Akao M, Hasegawa K, Wada H

   第 84 回日本循環器学会学術集会, 2020. 7, Web 開催

5. **GDF-15 as a Predictor of Mortality in Patients with Diabetes and Suspected or Known Coronary Heart Disease**

Wada H, Unoki T, Suzuki M, Matsuda M, Ajiro Y, Shinozaki T, Sakagami S, Yonezawa K, Shimizu M, Funada J, Takenaka T, Morita Y, Nakamura T, Fujimoto K, Matsubara H, Kato T, Takagi D, Masunaga N, Ishii M, Wada M, Wada K, Kotani K, Abe M, Akao M, Hasegawa K

第 84 回日本循環器学会学術集会, 2020. 7, Web 開催

6. **Relationship between VEGF-C and Atrial Fibrillation in Patients with Suspected or Known Coronary Artery Disease**

井口 守丈, 鈴木 雅裕, 松田 守弘, 網代 洋一, 篠崎 毅, 阪上 学, 米澤 一也, 清水 雅俊, 舩田 淳一, 竹中 孝, 森田 有紀子, 中村 俊博, 藤本 和輝, 松原 広己, 加藤 徹, 鵜木 崇, 髙木 大輔, 益永 信豊, 石井 充, 和田 都花, 和田 享万, 和田 享万, 阿部 充, 赤尾 昌治, 長谷川 浩二, 和田 啓道

第 84 回日本循環器学会学術集会, 2020. 7, Web 開催

7. **〈セッション I-2 虚血性心疾患 2 Ⅸ-10〉blow-out 型左室自由壁破裂をきたした側壁心筋梗塞の一例**

小嶋 寛之, 野田 光里, 森田 有紀子, 大竹 諒, 髙橋 広軌, 山本 明日香, 福岡 雅浩, 日々 潔, 木村 一雄, 田村 功一

第 258 回日本循環器学会関東甲信越地方会, 2020. 12, Web 開催

8. **Impact of Chronic Kidney Disease on the Association of Soluble Flt-1 with Cardiovascular Events and Mortality**

Wada H, Shinozaki T, Suzuki M, Sakagami S, Ajiro Y, Funada J, Mastuda M, Shimizu M, Shinozaki T, Takenaka T, Morita Y, Yonezawa K, Matsubara H, Ono Y, Nakamura T, Fujimoto K, Yoshida K, Kato T, Unoki T, Takagi D, Iguchi M, Kotani K, Abe M, Akao M, Hasegawa K

第 85 回日本循環器学会学術集会, 2021. 3, Web 開催

9. **Impact of Sex on Serum Galectin-3 and Mortality in Patients with Suspected or Known Coronary Artery Disease**

Wada H, Kotani K, Suzuki M, Matsuda M, Ajiro Y, Shinozaki T, Sakagami S, Yonezawa K, Shimizu M, Funada J, Takenaka T, Morita Y, Nakamura T, Fujimoto K, Matsubara H, Kato T, Unoki T, Takagi D, Wada K, Wada M, Iguchi M, Masunaga N, Ishii M, Abe M, Akao M, Hasegawa K

第 85 回日本循環器学会学術集会, 2021. 3, Web 開催

10. **Impact of Smoking on Serum VEGF-D and Mortality in Patients with Suspected or Known Coronary Artery Disease**

Wada H, Suzuki M, Matsuda M, Ajiro Y, Shinozaki T, Sakagami S, Yonezawa K, Shimizu M, Funada J, Takenaka T, Morita Y, Nakamura T, Fujimoto K, Matsubara H, Kato T, Unoki T, Takagi D, Iguchi M, Masunaga N, Ishii M, Kotani K, Abe M, Akao M, Hasegawa K

第 85 回日本循環器学会学術集会, 2021. 3, Web 開催

11. Impact of Chronic Kidney Disease on VEGF-C and Mortality in Patients with Suspected Coronary Artery Disease

Takagi D, Kotani K, Suzuki M, Matsuda M, Ajiro Y, Shinozaki T, Sakagami S, Yonezawa K, Shimizu M, Funada J, Takenaka T, Morita Y, Nakamura T, Fujimoto K, Matsubara H, Kato T, Unoki T, Wada K, Wada M, Iguchi M, Masunaga N, Ishii M, Abe M, Akao M, Hasegawa K, Wada H

第 85 回日本循環器学会学術集会, 2021. 3, Web 開催

12. Impact of Anemia on VEGF-C and Mortality in Patients with Suspected or known Coronary Artery Disease

Iguchi M, Suzuki M, Matsuda M, Ajiro Y, Shinozaki T, Sakagami S, Yonezawa K, Shimizu M, Funada J, Takenaka T, Morita Y, Nakamura T, Fujimoto K, Matsubara H, Kato T, Unoki T, Takagi D, Wada K, Wada M, Masunaga N, Ishii M, Kotani K, Abe M, Akao M, Hasegawa K, Wada H

第 85 回日本循環器学会学術集会, 2021. 3, Web 開催

13. Impact of Anemia on GDF-15 and Mortality in Patients with Suspected or Known Coronary Artery Disease

Wada H, Suzuki M, Matsuda M, Ajiro Y, Shinozaki T, Sakagami S, Yonezawa K, Shimizu M, Funada J, Takenaka T, Morita Y, Nakamura T, Fujimoto K, Matsubara H, Kato T, Unoki T, Takagi D, Iguchi M, Masunaga N, Ishii M, Kotani K, Abe M, Akao M, Hasegawa K

第 85 回日本循環器学会学術集会, 2021. 3, Web 開催

14. Glucose Tolerance Status, VEGF-D and Mortality in Patients with Suspected or Known Coronary Artery Disease

Wada H, Suzuki M, Matsuda M, Ajiro Y, Shinozaki T, Sakagami S, Yonezawa K, Shimizu M, Funada J, Takenaka T, Morita Y, Nakamura T, Fujimoto K, Matsubara H, Kato T, Unoki T, Takagi D, Iguchi M, Masunaga N, Ishii M, Kotani K, Abe M, Akao M, Hasegawa K

第 85 回日本循環器学会学術集会, 2021. 3, Web 開催

15. Glucose Tolerance Status, GDF-15 and Mortality in Patients with Suspected or known Coronary Artery Disease

Wada H, Suzuki M, Matsuda M, Ajiro Y, Shinozaki T, Sakagami S, Yonezawa K, Shimizu M, Funada J, Takenaka T, Morita Y, Nakamura T, Fujimoto K, Matsubara H, Kato T, Unoki T, Takagi D, Iguchi M, Masunaga N, Ishii M, Kotani K, Abe M, Akao M, Hasegawa K

第 85 回日本循環器学会学術集会, 2021. 3, Web 開催

［学術講演・他］

1. 慢性心不全の治療方針・イバブラジンの対象患者像を考える

八木 秀憲, 森田 有紀子, 干場 泰成, 吉澤 智治

慢性心不全治療を考える会　in 県央･相模原（案）, 2020. 8, Web 開催

2. 突然その日はやってきた?!～走り続けた 2020 相模原病院編～

森田 有紀子

Q-WINC　@ ARIA　2020～Fighting COVID-19, 2020. 11, Web 開催

3. 〈ディスカッサント〉抗血栓療法における尽きない悩み，痛恨の冠動脈解離の一例

谷川 高士，野崎 洋一，三宅 省吾，森田 有紀子，西山 裕善，酒井 孝志郎

第 25 回　C5 研究会　@ ARIA2020, 2020. 11, Web 開催

4. 〈パネリスト〉イバブラジンの使用経験の共有

鍋田 健，森田 有紀子，陳 勁一，堀口 順子

慢性心不全治療　Update Meeting in　南区, 2020. 11, Web 開催

5. 〈ディスカスタント〉多枝高度狭窄性病変に対する治療方針，悪性腫瘍合併が疑われた高次脳機能障害のある多枝病変 NSTEMI の一例

芦田 和博，三宅 省吾，森田 有紀子，山本 克浩，近江 晃樹，前島 信彦

第 26 回 C5 研究会, 2020. 11, Web 開催

6. 〈コメンテーター〉第 1 回　めざせ循環器専門医！循環器専門医試験対策セミナー

佐藤 加代子，中井 俊子，森田 有紀子，齋藤 綾，小野 亮平，木村 眞樹子，圓谷 紘乃

第 258 回　日本循環器学会関東甲信越地方会　第 5 回ダイバーシティ・フォーラム, 2020. 12, Web 開催

7. 最新の冠動脈疾患患者における抗血栓療法の考え方～2020JCS ガイドラインフォーカスアップデート版を個々の症例とともに考える～

森田 有紀子

キャブピリン配合錠 WEB 講演会, 2021. 2, Web 開催

8. 〈session2　講演 1〉コロナ渦の医療現場における次世代キャリア支援と働き方改革の目指すところ

森田 有紀子

第 2 回次世代キャリア支援 Web セミナー, 2021. 3, Web 開催

泌尿器科

■英文原著・短報

1. **Prognostic impact of preoperative renal function in patients treatedwith radical cystectomy: a multi—institutional retrospective study**

   Koguchi D , Matsumoto K, Ikeda M, Taoka Y, Hirayama T, Murakami Y, Utsunomiya T, Matsuda D, Okuno N, Irie A, Iwamura M

   International Journal of Clinical Oncology. 2020 Nov; 25(11) : 1969−1976

2. **Oncologic Outcomes of Salvage Chemotherapy in Patients with Recurrent or Metastatic Lesions after Radical Nephroureterectomy: A Multi−Institutional Retrospective Study**

   Ikeda M, Matsumoto K, Hirayama T, Koguchi D, Murakami Y, Matsuda D, Okuno N, Utsunomiya T, Taoka Y, Irie A, Iwamura M

   Chemotherapy . 2020 Nov; : 1−7

■国内発表

［学会_一般演題］

1. 上部尿路癌に対する腎盂尿管全摘除術・膀胱部分切除術後の膀胱再発における臨床病理学的因子の検討

   志村 総一朗, 松本 和将, 池田 勝臣, 高口 大, 田岡 佳憲, 平山 貴博, 村上 泰清, 宇都宮 拓治, 松田 大介, 奥野 紀彦, 入江 啓, 岩村 正嗣

   第 108 回 日本泌尿器科学会総会, 2020. 12, Web 開催

2. 膀胱全摘症例における尿路変向術および術前腎機能と予後に関する検討

   髙口 大, 松本 和将, 池田 勝臣, 田岡 佳憲, 平山 貴博, 村上 泰清, 宇都宮 拓治, 松田 大介, 奥野 紀彦, 入江 啓, 岩村 正嗣

   第 108 回 日本泌尿器科学会総会, 2020. 12, Web 開催

3. 〈一般演題〉右腎盂癌術直後に血清肝酵素，膵酵素が急速に憎悪した一例

   原野 貴弘, 若田部 陽司, 奥野 紀彦, 岩村 正嗣

   第 62 会日本泌尿器科学会神奈川地方会, 2021. 2, Web 開催

産科・婦人科

■英文原著・短報

1. Perinatal outcome in case of maternal death for cerebrovascular acute disorders: a nation-wide study in Japan

Katsuragi S, Tanaka H, Hasegawa J, Kurasaki A, Nakamura M, Kanayama N, Nakata M, Hayata E, Murakoshi T, Yoshimatsu J, Osato K, Tanaka K, Oda T, Sekizawa A, Shimaoka T, Ishikawa I, Takahashi J, Ikeda T

J Matern Fetal Neonatal Med . 2020 Jul; : 1−6

眼科

■国内発表

［学会_一般演題］

〈一般講演 6　内斜視〉デジタルデバイスによって生じる後天共同性内斜視の特徴と治療成績

石川 大起

第 76 会日本弱視斜視学会総会　第 45 会日本小児眼科学会総会　合同学会, 2020. 7, Web 開催

腫瘍内科

■英文原著・短報

1. **Cross-Reactivity of Palladium in a Murine Model of Metal-induced Allergic Contact Dermatitis**

   Shigematsu H, Kumagai K, Suzuki M, Eguchi T, Matsubara R, Nakasone Y, Nasu K, Yoshizawa T, Ichikawa H, Mori T, Hamada Y, Suzuki R

   International Journal of Molecular l Science. 2020 Jun; 21(11): 4061-

2. **Clonal Expansion of Tumor-Infiltrating T Cells and Analysis of the Tumor Microenvironment within Esophageal Squamous Cell Carcinoma Relapsed after Definitive Chemoradiation Therapy**

   Mori T, Kumagai K, Nasu K, Yoshizawa T, Kuwano K, Hamada Y, Kanazawa H, Suzuki R

   International Journal of Moleclar Sciences. 2021 Jan; 22(3): 1098

■国内発表

［学会_一般演題］

〈食道③〉重篤な合併症を発症した難治性逆流性食道炎の 1 例

大越 悠史, 森谷 宏光, 池村 京之介, 桑野 紘治, 横田 和子, 旗手 和彦, 金澤 秀紀, 森 隆弘, 田邉 聡, 金田 悟郎

第 110 回 日本消化器内視鏡学会関東支部例会, 2020. 5, Web 開催

救急科

■国内発表

［学会_シンポジウム］

1. 〈RO-5-2〉Wells スコアを用いた VTE 評価システムの術前評価の有用性について

平田 光博

第 40 回　日本静脈学会総会　On　the　Web, 2020. 9, Web 開催

2. 第 175 回　Pharmaceutical　Care　研修会

細谷 智

第 175 回　Pharmaceutical　Care　研修会, 2020. 11, Web 開催

3. 〈PD16-3〉首都直下地震で発生する予測重症熱傷患者数

服部 潤，渋谷 紘隆，細谷 智，平田 光博，浅利 靖

第 48 回日本救急医学会総会･学術集会, 2020. 11, 岐阜市

4. 〈O51-3〉発熱入院患者の初回 CT 撮像は SARS-CoV-2　PCR 結果後まで遅らせても予後に影響しないか

渋谷 紘隆

第 48 回日本救急医学会総会･学術集会, 2020. 11, 岐阜市

［学術講演・他］

1. 〈基調講演〉新型コロナウイルス感染症に直面した医療現場の声を聴く～「当院の新型コロナ感染症における現状と課題」

細谷 智

地域医療連携業務関係職員合同会議, 2021. 3, web 開催

リハビリテーション科

■国内発表

［学会_一般演題］

1. 〈1-P2K-7-4〉びまん性食道痙攣を呈したパーキンソン病症例に対する ST 介入

池山 順子

第 57 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2020. 8, 京都市

2. 〈一般演題〉びまん性食道痙攣を呈したパーキンソン病症例・第二報～手術介入による変化～

池山 順子，田村 昌也，徳田 翔，公文 彩，池中 達央，増田 公男，長谷川 一子

第 19 回釧路ニューロサイエンスワークショップ, 2020. 8, 釧路市

3. 〈ポスターセッション　MSP-12-8〉パーキンソン病（PD）に対するロボットスーツ HAL による歩行訓練の介入効果

境野 敦，堀坂 渓，池山 順子，萩原 和美，砂原 直子，池中 達央，増田 公男，長谷川 一子

第 61 回日本神経学会学術大会シンポジウム, 2020. 8, 岡山市

4. 〈ポスターセッション　Pj-36-6〉当院における神経疾患の嚥下評価結果について①-パーキンソン病を中心に-

池山 順子，田村 昌也，池中 達央，増田 公男，長谷川 一子

第 61 回日本神経学会学術大会シンポジウム, 2020. 8, 岡山市

5. 〈093-2　一般演題〉新型コロナウイルス感染症（COVID-19）パンデミックに対する当院リハビリテーション科の対策について（第 1 報）

増田 公男，砂原 直子，菅野 寛子，長谷川 淳，山本 大介，小川 翔太，境野 敦，小池 友和，泉 美穂，神道 雄介，三澤 俊太，荻野 容子，小金澤 悟，塚本 陽子，鶴見 暁子，土屋 恵，細山田 瑠海，森 優登，池山 順子，池中 達央

第 74 回国立病院総合医学会, 2020. 10, WEB 開催

病理診断科

■英文総説・著書

1. Diffuse cutaneous mastocytosis: Identification of KIT mutation and long-term follow-up with serum tryptase level

Shibata Y, Hirota S, Saito I, Asahina A

The Journal of Dermatology 2021. 1; 48(5): 672-675

■国内発表

［学会_一般演題］

1. リウマチ関連リンパ増殖性疾患における検査値の動向

星田 義彦, 西村 理恵子, 田口 健一, 中澤 功, 板垣 裕子, 齋藤 生朗, 堀田 綾子, 川島 篤弘, 谷山 清己, 野元 三治, 鈴木 宏明, 大島 久二

第 67 回日本臨床検査医学会, 2020. 11, Web 開催

放射線科

■英文総説・著書

1. Pulmonary Artery-Bronchus Fistula Treated with a Combination of Bare Metal Stent, Metallic Coil, and N-Butyl Cyanoacrylate

Woodhams R, Fujii K, Takigawa M, Inoue Y

Journal of Vascular and Interventional Radiology 2021. 1; 32(1): 152-155

臨床検査部門

［学会_一般演題］

1. 〈P-532〉リウマチ科患者を対象とした，キャピラリー・フォトメトリー法を用いる全自動赤血球沈降速度測定装置の検討

中山 佳苗

第 74 回国立病院総合医学会, 2020. 10, Web 開催

薬剤部門

■英文原著・短報

1. Pre-conception status, obstetric outcome and use of medications during pregnancy of systemic lupus erythematosus (SLE), rheumatoid arthritis (RA) and inflammatory bowel disease (IBD) in Japan: Multi-center retrospective descriptive study

Tsuda S, Sameshima A, Sekine M, Kawaguchi H, Fujita D, Makino S, Morinobu A, Murakawa Y, Matsui K, Sugiyama T, Watanabe M, Suzuki Y, Nagahori M, Murashima A, Atsumi T, Oku K, Mitsuda N, Takei S, Miyamae T, Takahashi N, Nakajima K, Saito S;

Mod Rheumatol. 2020 Sep; 30(5): 852-861.

■国内発表

［学会_シンポジウム］

1. 〈P-465〉プレアポイド班運用マニュアル改訂と課題について

鈴村 史帆, 富永 枝里子, 高橋 郷, 西口 萌, 野末 真理子, 西尾 真衣, 瀬川 誠, 勝海 学, 田畑 信悟

第 74 回国立病院総合医学会, 2020. 10, Web 開催

2. 〈P-472〉検査・手術前の患者に対する術前中止薬休薬確認の取り組みと評価

野末 真理子, 盛川 敬介, 高橋 郷, 富永 枝里子, 森村 明音, 佐藤 美咲, 瀬川 誠, 勝海 学

第 74 回国立病院総合医学会, 2020. 10, Web 開催

［学会_一般演題］

1. 栄養領域に関連した薬剤師介入事例及び相談応需事例の分析

森村 明音, 盛川 敬介, 高橋 郷, 瀬川 誠, 勝海 学

第 36 回日本臨床栄養代謝学会学術集会, 2021. 2, Web 開催

［学術講演・他］

1. 〈Special Lecture〉薬物療法を学ぶ上での考え方について-薬薬連携の入口からがん薬物療法まで-

高橋 郷

茨城県薬剤師会 Oncology Pharmacist Seminar, 2021. 2, Web 開催

栄養管理部門

■和文総説・著書

1.「新型コロナウイスル感染症における患者への対応」について

富井 三惠

神奈川県医療専門職連合会会報　2021. 2; :

■国内発表

［学術講演・他］

1. 新型コロナウイルス感染症に対する給食提供について

富井 三惠

神奈川県栄養士会医療事業部主催　栄養管理セミナー, 2021. 2, Web 開催

看護部門

■和文原著

1. 幼児前期の小児に対する食事援助技術　熟練看護師へのインタビュー調査から

井上 耶々，春名 朝美，井上 夏帆，伊藤 佐代

日本看護学会論文集: 慢性期看護　2020. 7; 50 号: 146–149

2. 産科・混合病棟で産科業務を行う看護師のストレス要因

秋保 知美，伊藤 美奈子，永田 京子，上野 裕美

医療の広場　2021. 2; 61(2): 35–38

■国内発表

［学会_シンポジウム］

1. 〈SY28–2〉食物経口負荷試験で看護師に求められる能力とは

小島 英里子

第 74 回国立病院総合医学会, 2020. 10, Web 開催

［学会_一般演題］

1. 中堅看護食者の看護管理職志向と，ロールモデルの存在・職務エンパワメントとの関連

小山 陽子

第 24 会日本看護管理学会学術集会, 2020. 8, Web 開催

2. 〈19. 新生児・NICU　234〉母体・新生児の初期嘔吐を軽減する責任因子の検討

鈴木 麻友，鍋倉 幸，髙橋 幸子

第 61 回日本母性衛生学会総会･学術集会, 2020. 10, Web 開催

3. 〈P–105〉A 病院における中堅看護師が働き続けられる理由

藤井 愛夕

第 74 回国立病院総合医学会, 2020. 10, Web 開催

4. 〈P–024〉心不全患者が転倒転落に至った要因分析～インシデントレポートの要因分析～

三井田 理恵，小山 智子，宗村 美鈴，吉田 潤，根本 佳奈，伊藤 佐代

第 74 回国立病院総合医学会, 2020. 10, Web 開催

治験部門

［学術講演・他］

1. 実施医療機関の体制

佐藤 ソメヨ

令和 2 年度　初級者臨床研究コーディネーター養成研修, 2021. 1, Web 開催

Ⅳ.【年次報告】

研究助成による研究参画

令和 2 年度　研究助成

項目	研究課題名	研究者名	研究事業名 （依頼業者名）	主任分担の別
日本学術振興会科学研究費	ステロイド抵抗性気道炎症の分子基盤解明と新規治療 （18K08422）	森　晶夫	科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究 C	主任
	ステロイド抵抗性気道炎症の分子基盤解明と新規治療 （18K08422）	神山　智	科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究 C	分担
	変性軟骨から遊離する因子の網羅的解析による変形性関節症の滑膜病変の解明（18K09049）	大橋　暁	科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究 C	主任
	変性軟骨から遊離する因子の網羅的解析による変形性関節症の滑膜病変の解明（18K09049）	福井　尚志	科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究 C	分担
	Flare に着目した変形性関節症の疼痛発現および進行機序の解明 （19K09590）	岩澤　三康	科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究 C	主任
	Flare に着目した変形性関節症の疼痛発現および進行機序の解明 （19K09590）	福井　尚志	科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究 C	分担
	Flare に着目した変形性関節症の疼痛発現および進行機序の解明 （19K09590）	大橋　暁	科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究 C	分担
	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症における好酸球の Etosis （19K17898）	上出　庸介	科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 若手研究	主任
	アレルギー対応非常食の社会実装のための分子論的基盤とそれを応用した食品の開発 （20K02350）	海老澤　元宏	科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究 C	分担
	自己免疫性自立神経節障害の「多様性」に関する多角的研究 （19H03549）	鈴木　隆二	科学研究費助成事業 科学研究費補助金 基盤研究 B	分担
	重症喘息の気道に腐生する真菌へのアレルギー診断法の開発とその実態解明 （20K08790）	福冨　友馬	科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究 C	主任
	重症喘息の気道に腐生する真菌へのアレルギー診断法の開発とその実態解明 （20K08790）	川上　裕司	科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究 C	分担
	線溶活性の亢進と疼痛発現に着目した変形性関節症の滑膜病変の解明（20K09447）	福井　尚志	科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究 C	主任
	線溶活性の亢進と疼痛発現に着目した変形性関節症の滑膜病変の解明（20K09447）	大橋　暁	科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究 C	分担
	線溶活性の亢進と疼痛発現に着目した変形性関節症の滑膜病変の解明（20K09447）	岩澤　三康	科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究 C	分担
	軟骨変性部における軟骨細胞の機能変化に着目した変形性関節症の進行機序の解明 （20K09470）	田中　信帆	科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究 C	主任
	軟骨変性部における軟骨細胞の機能変化に着目した変形性関節症の進行機序の解明 （20K09470）	福井　尚志	科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究 C	分担

項目	研究課題名	研究者名	研究事業名 （依頼業者名）	主任分担の別
日本学術振興会科学研究費	Th1 細胞型重症喘息に適応した　治療薬の喘息マウスモデルによる選択（20K17436）	神山　智	科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 若手研究	主任
	経口免疫寛容による金属アレルギーの新規治療戦略に関する基盤的研究（19K10371）	鈴木　隆二	科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究 C	分担
	完全個別化医療に向けた口腔癌のネオアンチゲンの探索および宿主免疫応答の網羅的解析（18H03008）	鈴木　隆二	科学研究費助成事業 科学研究費補助金 基盤研究 B	分担
	重篤なアレルギー症状に関与する甲殻類アレルゲン構造の解明（20H01614）	福冨　友馬	科学研究費助成事業 科学研究費補助金 基盤研究 B	分担
厚生労働科学研究費	スモンに関する調査研究 （20FC2004）	長谷川　一子	厚生労働行政推進調査事業費 補助金 難治性疾患等政策研究事業	分担
	アレルギー疾患の多様性，生活実態を把握するための疫学研究（20FE2001）	福冨　友馬	厚生労働行政推進調査事業費 補助金 免疫・アレルギー疾患政策研究事業	分担
	アレルギー疾患の多様性，生活実態を把握するための疫学研究（20FE2001）	高橋　亨平	厚生労働行政推進調査事業費 補助金 免疫・アレルギー疾患政策研究事業	分担
	神経変性疾患領域の基盤的調査研究 （20FC1049）	長谷川　一子	厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業	分担
	アレルギー拠点病院ネットワークを利用した成人アレルギー難治/診断困難患者の診療・研究システム構築に関する研究（19FE1002）	福冨　友馬	厚生労働科学研究費補助金 免疫・アレルギー疾患政策研究事業	主任
	ライフステージに応じた関節リウマチ患者支援に関する研究 （19FE1003）	松井　利浩	厚生労働科学研究費補助金 免疫・アレルギー疾患政策研究事業	主任
	食物経口負荷試験の標準的施行方法の確立 （19FE1001）	海老澤　元宏	厚生労働科学研究費補助金 免疫・アレルギー疾患政策研究事業	主任
日本医療研究開発機構研究費	重症食物アレルギー患者への管理および治療の安全性向上に関する研究（20ek0410049h0003）	海老澤　元宏	免疫アレルギ-疾患実用化研究事業	主任
	進行性核上性麻痺と関連タウオパチーの患者レジストリと試料レポジトリを活用した診療エビデンスの構築 （20ek0109350h0003）	長谷川一子	難治性疾患実用化研究事業	分担
	乳児期発症のアトピー性皮膚炎の予後を追跡しアレルギーマーチへの診療の影響と危険因子を探索する前向きコホート研究（20ek0410067s0401）	海老澤　元宏	免疫アレルギ-疾患実用化研究事業	分担
	経皮感作対策による食物アレルギー発症予防研究 （20ek0410054s0702）	海老澤　元宏	免疫アレルギ-疾患実用化研究事業	分担
	重症気管支喘息患者の生物学的製剤の有効性を予測するバイオマーカーの探索 （20ek0410066s0101）	関谷　潔史	免疫アレルギ-疾患実用化研究事業	分担
	難治性血管炎診療の CQ 解決のための多層的研究 （20ek0109360h0003）	関谷 潔史	難治性疾患実用化研究事業	分担
	次世代 BCR レパトア解析代替法開発（20dk0310100s0102）	鈴木　隆二	長寿・障害総合研究事業 障害者対策総合研究開発事業	分担
	真菌関連アレルギー性気道疾患の発症・増悪予防を目指した体内・対外環境の評価と制御	福冨　友馬	免疫アレルギ-疾患実用化研究事業	分担
その他財団等からの研究費	軟骨変性と痛みの関連に着目した変形性関節症の病態解明	福井　尚志	（公財）テルモ生命科学振興財団研究助成金	主任
	フレアに着目した変形性関節症の病態の試み	田中　信帆	（公財）中冨健康科学振興財団	主任
	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症（EGPA）の病態を解析する研究	谷口　正実	研究者主導医学系研究 グラクソ・スミスクライン（株）	主任
	重篤なアレルギーのリスクとなる果物類アレルゲンコンポーネントに関する研究（1807）	海老澤　元宏	内閣府 食品健康影響評価技術研究	分担

項目	研究課題名	研究者名	研究事業名 （依頼業者名）	主任分担の別
その他財団等からの研究費	ライフサイクルから考えるぜん息の長期予後と寛解・増悪に関わる因子の解明に関する研究	福冨　友馬	独）環境再生保全機構	分担
	食物アレルギーに関連する食品表示に関する調査研究事業	海老澤　元宏	消費者庁 食物アレルギーに関連する食品表示に関する調査研究事業	主任
	臨床研究に係る症例登録費用	上出　庸介	NHO 東京病院	主任
	再発危険因子を有する StageII 大腸癌に対する UFT/LV 療法の臨床的有用性に関する研究	金澤　秀紀	（財）がん集学的治療研究財団	主任
	非弁膜症性心房細動を有する後期高齢患者を対象とした前向き観察研究-ANAFIE Registry	森田　有紀子	アイキューヴィアサービシーズジャパン（株）	主任
	ライフサイクルから考えるぜん息の長期予後と寛解・増悪に関わる因子の解明に関する研究～肺機能の経時的変化パターンの解析	海老澤　元宏	NHO 三重病院	主任
	AI 機能を搭載した多項目バイオチップ検査システムの開発	海老澤　元宏	理化学研究所	主任
	「妊婦・新生児へのシンバイオティクス投与による食物アレルギーの発症予防を検証するパイロット研究」	柳田　紀之	高梨乳業（株）	主任
	肝癌・代償性肝硬変患者データベース構築	中村　陽子	（一社）National Clinical Database	主任
	ゴマアレルギーを誘発するアレルゲンタンパク質の探索	海老澤　元宏	学校法人城南学園	主任
	アレルギー疾患を的確に把握する病態診断法の研究 2	森　晶夫	シスメックス（株）	主任
	ANOX 研究に係る追跡調査	森田　有紀子	NHO 京都医療センター	主任
民間セクターからの寄附金	眼内レンズを用いた手術治療等の視機能改善効果の検討	鈴木雅信	株式会社リイツメディカル	主任
	気管支喘息における咽喉頭逆流性（LPRD）の関与の検討	金澤秀紀	大塚製薬株式会社	主任
	パーキンソン病に対応した音楽療法の構築-2 のため	長谷川一子	大塚製薬株式会社	主任
	医学研究のため	松井利浩	アッヴィ合同会社	主任
	脊椎に関する臨床研究のため	熊野洋	株式会社アムテック	主任
	免疫細胞医薬品の為の高機能 T 細胞レセプター（TCR）の取得と実用技術の基礎的検討のため	金田悟郎	大鵬薬品工業（株）	主任
	気管支喘息における難治化因子および致死的発作・大発作入院危険因子の検討のため	関谷潔史	大鵬薬品工業（株）	主任
	関節リウマチ患者に合併する悪性疾患に関する研究のため	松井利浩	旭化成ファーマ（株）	主任
	悪性腫瘍およびリンパ増殖性疾患の既住，合併のある関節リウマチ患者にあける適切で安全なリウマチ治療に関する研究のため	松井利浩	中外製薬（株）	主任
	産婦人科領域における研究助成のため	新井努	（株）ステムセル研究所	主任
	パーキンソン病に特化したリハビリテーションシステムの構築-2 研究のため	長谷川一子	日本ベーリンガーインゲルハイム（株）	主任
	リウマチ性疾患研究部　研究助成のため	松井利浩	田辺三菱製薬（株）	主任
	臨床研究センターリウマチ性疾患研究部への研究助成のため	松井利浩	エーザイ（株）	主任
	有限要素法を用いた脊椎固定の研究のため	熊野洋	メドトロニックソファモアダネック（株）	主任
	EGPA の研究，アレルギー科，呼吸器科の研究など	中村　祐人	長谷川　清子	主任
	神経内科/神経難病研究室への研究助成のため	長谷川一子	エーザイ（株）	主任
	変形性疾患に関する研究への助成のため	岩澤三康	京セラ（株）	主任

令和２年度　NHO ネットワーク共同研究

研究者	代表者に○	研究課題名
海老澤　元宏	○	牛乳アレルギー発症ハイリスクの乳児に対する発症予防法の確立；多施設共同ランダム化比較試験
海老澤　元宏	○	低年齢の通年性アレルギ−性鼻炎に対するダニ舌下免疫療法のランダム化比較試験による有効性の検討
海老澤　元宏		希少アレルゲンによるアナフィラキシーの実態解明と診断法確立に関する研究
関谷　潔史	○	長引く咳嗽に対する新規診断・治療アルゴリズムの有用性を検討する非ランダム化比較試験
関谷　潔史		実臨床における気管支喘息に対する生物製剤投与の効果および効果予測指標の確立に関する研究
松井　利浩		関節リウマチに対する分子標的薬治療における免疫学的寛解のマーカ−の探索
長谷川　一子		頭蓋内主幹脳動脈搾取症の進行に関する血行力学的予測因子の探索研究
佐藤　さくら	○	早期新生児期の鶏卵摂取による即時型鶏卵アレルギーの発症予防効果のランダム化比較試験による検証
佐藤　さくら		希少アレルゲンによるアナフィラキシーの実態解明と診断法確立に関する研究
森　晶夫	○	実臨床における気管支喘息に対する生物製剤投与の効果および効果予測指標の確立に関する研究
福冨　友馬		実臨床における気管支喘息に対する生物製剤投与の効果および効果予測指標の確立に関する研究
福冨　友馬		希少アレルゲンによるアナフィラキシーの実態解明と診断法確立に関する研究
上出　庸介		実臨床における気管支喘息に対する生物製剤投与の効果および効果予測指標の確立に関する研究
中村　陽子		B 型慢性肝疾患に対する核酸アナログ長期投与例の課題克服および電子的臨床検査情報収集(EDC) システムを用いた多施設大規模デ−タベ−スの構築
中村　陽子		薬物性肝障害および急性発症型自己免疫性肝炎を含む急性肝炎の発生状況および重症化，劇症化に関する因子に関する研究
石井　豊太		NHO プログラムによる音声･嚥下障害訓練法を用いた，客観的有効性評価指標としての血中サブスタンス P 値の変動と相関に関する研究
髙橋　亨平	○	Vitamin D による乳児 RS ウイルス感染症後の反復性喘鳴抑制効果の多施設ランダム化比較試験による検証
野木　真一	○	リウマチ性多発筋痛症の診断・治療バイオマ−カ−の探索
柳田　紀之		乳児期における栄養摂取と湿疹が食物アレルギー感作に及ぼす影響に関する出生コホート研究
柳田　紀之		反復喘鳴を呈した 1 歳児の喘息発症予測フェノタイプに関する研究
森田　有紀子		慢性心不全患者の新しい再入院リスク評価法の確立 ―新規バイオマーカーと心不全再入院イベントの関連―
森田　有紀子		簡便な新規心血管イベント予知マーカーによる効率的なハイリスク患者抽出方法の確立
中島　亮		多面的管理達成者の糖尿病性腎疾患(DKD) 予後改善効果評価法の確立と，効果予測のための非侵襲的指標の確立−2(DKDrem−2)
齋藤　生朗		メトトレキサート（MTX) 関連リンパ増殖性疾患の遺伝子変異プロファイルの解析
山口　知子		ウイルス性顔面神経麻痺（Bell 麻痺，Hunt 症候群）に対する新規診断法および治療法の開発

令和２年度　EBM 推進のための大規模臨床研究

研究者	代表者に○	研究課題名
長谷川 一子		国立病院機構認知症登録研究（The NHODR study) ～認知症介護状況の実態調査と予後への影響～

受　賞

■国内学会若手支援プログラム賞受賞　〈日本弱視斜視学会〉　2020 年 7 月

石川　大起　デジタルデバイスによって生じる後天共同性内斜視の特徴と治療成績

■ JSA/ WAO joint congress2020 トラベルグラント受賞　〈JSA/ WAO〉　2020 年 9 月

Sasamoto K　Three-year outcomes of oral immunotherapy using dried egg powder for severe hen's egg allergy

■ JSA/ WAO joint congress2020 トラベルグラント受賞　〈JSA/ WAO〉　2020 年 9 月

Mitomori M　Clinical cross-reactivity to quail's egg in patients with hen's egg allergy

■ For the next generation 企画　〈JSA/ WAO〉　2020 年 10 月

Itonaga T　Comparison of allergic march with 20 year interval

■ 2020 年度日本小児アレルギー学会誌優秀論文　〈佐藤 さくら〉　2020 年 12 月

佐藤　さくら　クルミアレルギー診断におけるアレルゲンコンポーネント Jugr1 特異的 IgE 抗体測定の有用性

■優秀演題賞　〈第 5 回日本小児アレルギー学会関東地方会〉　2021 年 3 月

久保田　慧　6 歳以降まで遷延した IgE 依存性牛乳アレルギー児の 12 歳までの耐性化率

メディア

■新聞

1. 増えるピーナッツアレルギー

佐藤 さくら　　八重山毎日新聞，7，2020/ 8/ 6

■ラジオ

1. 食物アレルギー「何が原因？」

海老澤 元宏　　マイあさ！／三宅民夫のマイあさ！，2020/ 8/ 10

2. 食物アレルギー「子どもに多い食物アレルギー」

海老澤 元宏　　マイあさ！／三宅民夫のマイあさ！，2020/ 8/ 11

3. 食物アレルギー「運動で発症！？」

海老澤 元宏　　マイあさ！／三宅民夫のマイあさ！，2020/ 8/ 12

4. 食物アレルギー「花粉症から発症！？」

海老澤 元宏　　マイあさ！／三宅民夫のマイあさ！，2020/ 8/ 13

5. 食物アレルギー「食物アレルギーの疑問」

海老澤 元宏　　マイあさ！／三宅民夫のマイあさ！，2020/ 8/ 14

■雑誌

1. 食物アレルギー対応レシピ

朴 善美　　学校の給食，7，2020/ 4/ 1

2. もっと教えて！猫アレルギー

海老澤 元宏　　ねこのきもち，51，2020/ 10/ 10

■その他

1. 君とごはん（ホームページ・記事監修）

佐藤 さくら

君とごはん，【医師監修】小麦アレルギーの主な症状や要因について説明します
https:/ / kimitogohan. net/ ，2020/ 4/ 1

2. 君とごはん（ホームページ・記事・レシピ監修）

渡邉 八寿子　　君とごはん，管理栄養士監修レシピ　等
https:/ / kimitogohan. net/ ，2020/ 4/ 1

3. 君とごはん（ホームページ・記事・レシピ監修）

朴 善美　　君とごはん，管理栄養士監修レシピ　等
https:/ / kimitogohan. net/ ，2020/ 4/ 1

4. アスピリン喘息（解熱鎮痛薬過敏喘息）に有効な治療薬の発見–抗 IgE 抗体（オマリズマブ）がアスピリン過敏性を消退させる–

谷口 正実

国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED) ホームページ，トップ>ニュース>成果情報，2020/ 5/ 19

5. ゾレア，アスピリン喘息患者 63%でアスピリン過敏性を消失–相模原病院ほか

谷口 正実　　医療 NEWS ホームページ，ニュース・医療情報ページ，2020/ 5/ 20

6. 食物アレルギーのこれから求められる対策①

海老澤 元宏　　認定 NPO 法人 日本アレルギー友の会　あおぞら，2020/ 6/ 1

7. トピックス 1『学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン』改定のポイント―アナフィラキシー／食物アレルギーを中心に―

海老澤 元宏　　infoAllergy，1，2020/ 6/ 1

8. 食物アレルギーのこれから求められる対策②

海老澤 元宏　　認定 NPO 法人 日本アレルギー友の会　あおぞら，4，2020/ 7/ 1

9. 食物アレルギーのこれから求められる対策③

海老澤 元宏　　認定 NPO 法人 日本アレルギー友の会　あおぞら，2，2020/ 8/ 1

10. 日本アレルギー友の会創立 50 周年記念講演会トークセッション②　アレルギー疾患を取り巻く環境変化を振り返って

海老澤 元宏　　認定 NPO 法人 日本アレルギー友の会　あおぞら，3，2020/ 10/ 1

11. 給食における食物アレルギー対応

朴 善美　　さくら，1–5，2020/ 10/ 27

12. JAK 阻害薬

津野宏隆

日本リウマチ学会，日本リウマチ学会ホームページ　一般のみなさまリウマチ性疾患と検査，薬剤について，2020/ 11/ 1

13. 本物の LMCTO 症例，どうする・どうなった？

（ファシリテーター）角辻 暁，山本 義人，（web コメンテーター）伊藤 良明，近江 晃樹，高橋 徹，滝澤 要，永松 航，林 隆三，森田 有紀子，吉田 雅言

casebook LIVE　角辻先生が教える PCI が上手くなる講座＃ 11，2020/ 11/ 8

14. よく知ろう！食物アレルギーとアナフィラキシー

佐藤 さくら　　デジタルサイネージ，Web 公開，2020/ 12/ 1

15. 猫アレルギーの問題を解決する画期的な発見

海老澤 元宏　　ネスレ日本株式会社，2021/ 2/ 1

独立行政法人国立病院機構
相模原病院

Ｖ．【研究業績の分類と業績件数表】

2020 年度（令和 2 年度）研究業績分類

	著述発表業績区分				口演発表業績区分							総数
	英文		和文		国際発表			国内発表				
	原著・短報	総説・著書	原著	総説・著書	学会シンポジウム	学会一般演題	学術講演・他	学会シンポジウム	学会一般演題	学術講演・他	メディア	
アレルギー・呼吸器内科	9	1	0	27	5	16	0	13	25	29	2	127
小児科	10	19	3	25	18	27	0	11	14	28	19	174
リウマチ科	12	1	0	5	0	2	0	4	27	11	1	63
整形外科	6	1	0	0	1	0	0	5	9	0	0	22
基礎免疫研究分野	1	0	0	2	2	2	0	1	3	0	0	11
臨床免疫研究分野	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
外科消化器外科乳腺外科	2	0	0	0	0	0	0	1	7	1	0	11
呼吸器外科	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
脳神経外科	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
消化器内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
循環器内科	3	0	0	0	0	7	0	2	15	8	1	36
神経内科	10	1	0	6	0	0	0	1	18	3	0	39
泌尿器科	2	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	5
産婦人科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
腫瘍内科	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3
救急科	0	0	0	0	0	0	0	4	0	1	0	5
眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
耳鼻咽喉科	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
皮膚科	0	0	6	1	0	0	0	1	9	0	0	17
リハビリテーション科	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	5
病理診断科	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放射線科	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
臨床検査部門	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
薬剤部門	1	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	5
栄養管理部門	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2
看護部門	0	0	2	0	0	0	0	1	4	0	0	7
治験部門	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
診療部その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コメディカル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研究センターその他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	64	25	12	67	26	54	0	47	145	85	23	548
					国際発表計		80	国内発表計			277	